

岩手労福協

第61回 通常総会 議案書

と き 2013年 6月20日(木) 午後4時

ところ 岩 手 労 働 福 祉 会 館



社団法人岩手県労働者福祉協議会

岩手労福協 第61回通常総会 次 第

1. 開会挨拶
2. 資格審査報告
3. 議長選出並びに挨拶
4. 議事録署名人並びに書記任命
5. 会長挨拶
6. 来賓挨拶
7. 祝電・メッセージ披露
8. 議 事
 - 第1号議案 2012年度事業報告に関する件
 - 第2号議案 2012年度会計報告並びに監査報告に関する件
 - 第3号議案 役員選任に関する件
 - 第4号議案 その他
9. スローガンの確認
10. 議長退任並びに挨拶
11. 閉会挨拶

2011～2012年度
社団法人岩手県労働者福祉協議会 役員名簿

会 長	いさ べ 砂 金	ふみ あき 文 昭	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
副 会 長	お の で ら 小野寺	まさ し 正 志	(東北労働金庫岩手県本部)
副 会 長	らい ない 来 内	ひろ ゆき 広 幸	(全労済岩手県本部)
副 会 長	とよ まき 豊 巻	こう や 浩 也	(平和環境岩手県センター)
副 会 長	こ もん 古 門	けん いち 賢 一	(岩手友愛会)
専務理事	お の 小 野	つとむ 務	(J A M 青森岩手)
常務理事	や はた 八 幡	ひろ ふみ 博 文	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
理 事	たけ おか 竹 岡	のぶ ゆき 信 幸	(東北労働金庫岩手県本部)
理 事	うら やま 浦 山	まさ とし 正 年	(財団法人岩手県民共済会)
理 事	こん 昆	まこと 誠	(財団法人岩手労働福祉会館)
理 事	あ べ 阿 部	わ へい 和 平	(消費者信用生活協同組合)
理 事	たか はし 高 橋	かつ ひろ 克 公	(岩手県学校生活協同組合)
理 事	さい とう 齋 藤	けん いち 健 市	(自治労岩手県本部)
理 事	ち ば 千 葉	のぶ ゆき 伸 行	(岩手県東北電力関連産業労働組合総連合)
理 事	み うら 三 浦	きよし 清	(情報労連岩手県協議会)
監 事	かわ さき 川 崎	のり お 則 男	(全労済岩手県本部)
監 事	しば や 柴 谷	まさ たか 正 孝	(運輸労連岩手県連合会)

選 出 日 2011. 6. 16 第57回通常総会
一部補選 2012. 3. 29 第58回通常総会
一部補選 2013. 3. 29 第60回通常総会

第1号議案 2012年度事業報告に関する件

3. 11の東日本大震災から2年3ヶ月半余りも経過した現在、復旧の兆しが見えはじめてきたものの、いまだ復興・再生への道のりは遠く非常に厳しい状況にあります。

更に「アベノミクス」の影響もあり、円安・株高の急激な変化が起き、一部企業の収益は高まったものの、私たち国民は賃金据え置き・輸入品高騰からの物価高などにより、厳しい生活環境にあります。まさに、日本を壊した小泉政権時代の自己責任・成果主義を強調した新自由主義政策の再来といえる状況にあり、今後の経過を注視していく必要があります。

私たちを取り巻く環境は、依然として厳しい状況下にあります。しかし、「安心・共生の福祉社会」をめざす、労働者福祉協議会の役割と期待は大きなものがあります。まさに、人と人との繋がり、支え合い、助け合い、連帯の相互扶助の精神に立ち、勤労者と家族の暮らしの安心・安全をめざした活動を展開していかなければなりません。

(社)岩手県労働者福祉協議会は、岩手県をはじめ加盟労働団体や労働福祉事業団体、地区労福協・勤労協、友誼団体等の皆様のご指導、ご協力に支えられながら事業を遂行することができました。

特に、県内の働く人のセーフティーネットとして「ライフサポートセンターいわて」の活動を通し、勤労者と家族の暮らしの安心・安全をめざし活動を展開してきました。この間のご協力に感謝申し上げます。

以下、2012年度の活動方針の項目に沿って、取り組み経過について報告します。

I. 岩手労福協関係

〔通常総会〕

1. 第59回通常総会

- (1) 日 時 2012年6月18日(月)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 第1号議案 2011年度事業報告に関する件
第2号議案 2011年度会計報告並びに監査報告に関する件
第3号議案 新公益法人制度への移行に関する件
第4号議案 その他



2. 第60回通常総会

- (1) 日 時 2013年3月29日(木)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 第1号議案 2013年度事業計画案承認の件
第2号議案 2013年度収支予算案承認の件
第3号議案 役員選任に関する件
第4号議案 その他

〔理事会〕

1. 第54回理事会

- (1) 日 時 2012年5月24日(木)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①第59回通常総会の議案について
②第59回通常総会の運営について
③新会員の入会承認について
④岩手労働福祉会館からの要請について
⑤職員の労働条件等について

2. 第55回理事会

- (1) 日 時 2012年10月16日(火)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①文化体育事業について
②岩手労働福祉会館在り方検討委員会について
③理事・監事の選任について

3. 第56回理事会

- (1) 日 時 2012年11月29日(木)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①会館在り方検討委員会の中間答申
②文化体育事業「復興支援チャリティーコンサート」の開催
③岩手労福協50周年記念事業準備委員会の設置
④岩手労福協役員選考委員会の設置
⑤職員の一時金

4. 第57回理事会

- (1) 日 時 2012年12月27日(木)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①会館在り方検討委員会の最終答申(案)について
②岩手労福協の定款変更(案)について
③役員の選任について

5. 第58回理事会

- (1) 日 時 2013年3月22日(金)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①第60回通常総会の議案について
②新公益法人制度への対応について
③役員の選任について

〔四役会〕

1. 第1回四役会議

- (1) 日 時 2012年5月9日(水)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①労福協第59回通常総会議案審議について
②労福協第59回通常総会の運営について
③岩手労働福祉会館からの要請について
④新会員の入会承認について
⑤職員の労働条件等について

2. 第2回四役会議

- (1) 日 時 2012年10月15日(月)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①岩手労働福祉会館在り方検討委員会について
②文化体育事業「復興支援チャリティーコンサート」の開催について
③理事・監事の選任について

3. 第3回四役会議

- (1) 日 時 2012年11月28日(水)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①会館在り方検討委員会の中間答申について
②文化体育事業「復興支援チャリティーコンサート」の開催について
③岩手労福協50周年記念事業準備委員会の設置について
④岩手労福協役員選考委員会の設置について
⑤職員の一時金について

4. 第4回四役会議

- (1) 日 時 2013年1月6日(日)
- (2) 会 場 「岩手県産業会館」
- (3) 議 事 ①会館在り方検討委員会の最終答申について
②新公益法人制度への対応について

〔各種会議等〕

1. 第1回地区労福協代表者会議

- (1) 日 時 2012年8月4日(土)
- (2) 会 場 岩手労働福祉会館
- (3) 議 事 ①労福協の取り組みについて
 - イ) ライフサポートセンターいわて事業報告について
 - ロ) 「ろうきん自治体提携融資」保証料補助の取り組みについて
 - ハ) 2012年度主催事業について



- ニ) 2012 年度地区交付金について
- ホ) 各地区労福協・勤労協の報告について
- ヘ) その他（新公益法人制度、都市計画事業に係る会館の在り方）
- ③各地区労福協並びに勤労協の取り組みについて
 - イ) 各地区労福協・勤労協の取り組み及び課題等について

2. 文化体育事業実行委員会

第 1 回実行委員会

- (1) 日 時 2012 年 8 月 7 日 (火)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事
 - ①第 24 回岩手県勤労者野球大会について
 - ②第 23 回労福協会長杯チャリティーゴルフコンペについて
 - ③第 31 回岩手県勤労者美術展について
 - ④第 17 回岩手県勤労者ボウリング大会について
 - ⑤退職準備サポート研修会について
 - ⑥文化講演会について
 - ⑦家庭介護セミナーについて

第 2 回実行委員会

- (1) 日 時 2012 年 11 月 29 日 (木)
- (2) 会 場 「岩手労働福祉会館」
- (3) 議 事 ①文化講演会「復興支援チャリティーコンサート」の開催について

3. 会館在り方検討委員会

(1) 盛岡市との折衝(意見交換)

- | | | |
|----------|---------------------|---------------|
| ① 第 1 回 | 2012 年 7 月 20 日 (金) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ② 第 2 回 | 7 月 26 日 (木) | 「盛岡市役所建設部用地課」 |
| ③ 第 3 回 | 8 月 24 日 (金) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ④ 第 4 回 | 9 月 25 日 (火) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ⑤ 第 5 回 | 10 月 30 日 (火) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ⑥ 盛岡市長要請 | 12 月 25 日 (火) | 「盛岡市役所」 |

(2) 入居団体並びに関係団体との意見交換

- | | | |
|-------------------|---------------------|------------|
| ① 入居団体 | 2012 年 7 月 12 日 (木) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ② 青森県労福会館視察 | 9 月 18 日 (火) | 「青森県労福協」 |
| ③ 全労済岩手県本部 | 11 月 14 日 (水) | 「全労済岩手県本部」 |
| ④ 労働金庫岩手県本部 | 11 月 26 日 (月) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ⑤ 県民共済会・信用生協・学校生協 | 11 月 26 日 (月) | 「岩手労働福祉会館」 |
| ⑥ 平和環境県センター・岩手友愛会 | 11 月 26 日 (月) | 「岩手労働福祉会館」 |

⑦ 全労済岩手県本部	12月17日(月)	「全労済岩手県本部」
⑧ 秋山会計事務所	12月19日(水)	「秋山会計事務所」
⑨ 労働金庫岩手県本部	12月25日(火)	「岩手労働福祉会館」
⑩ 秋山会計事務所	12月25日(火)	「秋山会計事務所」

(3) 会館在り方検討委員会

① 第1回検討委員会	2012年5月24日(木)	「岩手労働福祉会館」
② 第2回検討委員会	8月7日(火)	「岩手労働福祉会館」
③ 第3回検討委員会	10月1日(月)	「岩手労働福祉会館」
④ 第4回検討委員会	11月6日(火)	「岩手労働福祉会館」
⑤ 第5回検討委員会	11月28日(水)	「岩手労働福祉会館」
⑥ 第6回検討委員会	12月27日(木)	「岩手労働福祉会館」



2012年11月30日
中間答申提出

〔新春交賀会〕

2013年新春交賀会

- (1) 日時 2013年1月27日(金)
- (2) 会場 岩手労働福祉会館
- (3) 出席者 46名



Ⅱ. 北部労福協関係

1. 第8回加盟団体・ブロック代表者合同会議

- (1) 日時 2012年8月30日(木)～31日(金)
- (2) 会場 「ハーネル仙台」(宮城県仙台市)
- (3) テーマ ①中央労福協、連合東北ブロック、労働金庫、全労済、各労福協からの報告
②意見交換

2. 第37回北部労福協研究集会

- (1) 日時 2012年9月20日(木)～21日(金)
- (2) 会場 「ホテル志戸平」(岩手県花巻市)
- (3) 内容 ①講演「コミュニケーションを図るために」



講師：本間 章 氏 (T Aカンパニー)

②公演「遠野郷の昔話」 語り部：小松 敦子 氏

(とおの昔話語り部いろり火の会)



3. 第48回定期総会

- (1) 日時 2012年11月21日(水)～22日(木)
- (2) 会場 「青森県労働福祉会館」(青森県青森市)
- (3) 議事 第1号議案 2012年度活動報告

- 第2号議案 2012年度会計報告並びに会計監査報告
第3号議案 2013年度活動方針(案)
第4号議案 2013年度会計予算(案)
第5号議案 役員改選について
・講演 「縄文遺跡群の世界遺産登録運動について」

4. 幹事会

2012年度第2回幹事会

- (1) 日 時 2012年5月10日(木)～11日(金)
(2) 会 場 「センチュリーロイヤルホテル」(北海道札幌市)
(3) 議 事 ①北部労福協第8回加盟団体・ブロック代表者合同会議の開催について
②北部労福協第37回研究集会の開催について
③北部労福協第48回総会について
④新公益法人移行に向けた意見交換
⑤東日本大震災に関する情報交換

2012年度第3回幹事会

- (1) 日 時 2012年8月9日(木)～10日(金)
(2) 会 場 「アルバートホテル秋田」(秋田県秋田市)
(3) 議 事 ①北部労福協の今後の行事について
②北海道・東北各県労福協の活動報告について

2013年度第1回幹事会

- (1) 日 時 2012年11月1日(木)～2日(金)
(2) 会 場 「大手門パルズ」(山形県山形市)
(3) 議 事 ①北部第48回定期総会議案及び役割分担について
②中央、北海道・東北各県労福協の活動報告について

2013年度第2回幹事会

- (1) 日 時 2013年3月25日(木)
(2) 会 場 「松島・一の坊」(宮城県松島郡松島町)
(3) 議 事 ①年間の活動日程について
②中央、北海道・東北各県労福協の活動報告

Ⅲ. 中央労福協関係

1. 2012年度全国研究集会

- (1) 日 時 2012年6月1日(木)～2日(金)
(2) 会 場 「ホテル国際21」(長野県長野市)
(3) 内 容 テーマ:「国際共同組合年に際し協同組合の社会的役割と価値を考察する」
①「国際共同組合年における日本の協同組合への期待」
講師: 明治大学 教授 中川 雄一郎 氏
②「協同組合の社会性を考察する」



講師：消費者信用生活協同組合 専務理事 上田 正 氏

③「労働金庫と国際協同組合同年」 講師：執行役員 安藤 栄二 氏

「全労済と国際協同組合同年」 講師：専務理事 原 日出夫 氏

「日本生協連と国際協同組合同年」 講師：執行役員 青竹 豊 氏

「労協連と国際協同組合同年」 講師：専務理事 古村 伸宏 氏

「医療福祉生協連と国際共同組合同年」 講師：専務理事 藤谷 恵三 氏

④パネルディスカッション「協同組合の展望と可能性」

ファシリテーター：中央労福協 事務局長 大塚 敏夫 氏

2. 第2回地方労福協会議

(1) 日 時 2012年7月17日(火)～18日(水)

(2) 会 場 「中野サンプラザ」(東京都)

(3) 内 容 ①協同組合同年の具体的な取り組みについて

②反貧困全国キャンペーン(キャラバン)の対応について

③連合・エコ大賞の取り組みについて

④LCS実務者・相談員の交流・研修のあり方について

⑤特別報告Ⅰ「住まいの貧困・住宅手当 住まいの貧困に取り組むネットワーク」

⑥特別報告Ⅱ「生活支援戦略・生活保護見直し」についての連合の考え方

⑦全国労福協関係者の共済加入について

⑧相談員関係者の共済加入について

3. 第3回地方労福協会議

(1) 日 時 2013年3月12日(火)～13日(水)

(2) 会 場 「郡山ビューホテルアネックス」(福島県郡山市)

(3) 内 容 ①「東日本大震災から2年～福島県の現状と今後そして私たち出来ること」

講師：福島県企画調整部主幹 葉坂聖一氏

②2013年度主要年間活動と活動計画の具体化について

③協同組合と労働組合の連携強化・利用促進に向けた今後の議論について

④生活保護基準の引き下げへの対応について

⑤反貧困全国キャラバンの在り方について

4. 地方労福協事務担当者研修会

(1) 日 時 2012年9月6日(木)～7日(金)

(2) 会 場 「沖縄県労働金庫会館」(沖縄県那覇市)

(3) 内 容 ①国際協同組合同年の制定と意義と課題について

②沖縄県における労福協運動の展開について

③パーソナル・サポート・モデルプロジェクトから学ぶ伴走型支援について

④沖縄県労福協の今後の展開について

5. 2012年度事業団体・地方労福協合同会議

(1) 日 時 2012年10月4日(木)～5日(金)

- (2) 会 場 「ホテルサンルート有明」(東京都)
- (3) 議 事 ①全福センターからの報告・課題提起
②地方労福協へのアンケート調査の報告
③事業団体・地方労福協からの報告

6. 第5回加盟団体代表者会議の開催について

- (1) 日 時 2012年11月16日(金)
- (2) 会 場 「ホテルラングウッド」(東京都)
- (3) 議 事 ①2012年度活動報告、2012～2013年度活動方針の中間総括と課題・補強(案)
②2012年度(第65期)会計決算報告・同監査報告、収支差額処分案
③2013年度(第66期)会計予算案

7. 第1回LSC実務者・相談員研修会

- (1) 日 時 2012年10月29日(月)～30日(火)
- (2) 会 場 「ホテルベルクラシック東京」(東京都)
- (3) 内 容 「相談・ヒアリングテクニック」、「メンタル支援事例検討」、「経験交流」、
「生活保護・多重債務」、「行政が行う生活支援システム」

8. 新公益法人制度移行申請・会計処理情報交換会

- (1) 日 時 2012年7月2日(月)～3日(火)
- (2) 会 場 明治大学「紫紺館」(東京都)
- (3) 議 事 ①新公益法人制度への移行申請について
②新公益法人制度の会計・税務について

IV. 主要な取り組み

1. 労働者福祉に関する調査・研究及び教育宣伝に関する事業

(1) 退職準備サポート研修会

退職後の生活設計や年金、社会保険等について研修し、退職後生活に少しでも役立てていただく趣旨で退職準備サポート研修会を県内3会場で開催しました。

- ① 奥州会場 2012年11月17日(土) 参加者34名 奥州市総合福祉センター
- ② 北上会場 2012年11月18日(日) 参加者35名 さくらホール
- ③ 盛岡会場 2012年12月1日(土) 参加者61名 盛岡市勤労福祉会館



(2) 家庭介護セミナー

介護の基礎知識や介護保険、家庭でも対応可能な簡単な介護基本技術についてセミナーを開催しました。

① 盛岡教室 2013年3月16日(土)ニチイ学館盛岡マリオス教室 参加者9名

② 北上教室 2013年3月17日(日)ニチイ学館北上教室 参加者6名



(3) 機関誌発行に関する事業

機関紙「岩手労福協」は、1回発行いたしました。(「新春号(No.148)」1月発行)

2. 労働者の福祉、生活の改善及び相談に関する事業

(1) ライフサポートセンターいわての取り組み

県内各地区における勤労者とその家族の暮らしの安心と豊かさをめざし、盛岡・北上・一関の3地区のセンターで相談業務を行ってきました。

2012年度の相談状況は、総相談件数280件(23.33件/月平均)の相談を受け付けました。主な相談内容は多い順に①生活相談145件51.8%、②労働相談46件16.4%、③法律・税務相談39件13.9%、④金銭相談29件10.4%です。

〈総相談件数と内容〉

合 計	労働相談	法律税務	子育て	金銭問題	生活相談	社会保障
280 件	46 件	39 件	7 件	29 件	145 件	14 件
率	16.4%	13.9%	2.5%	10.4%	51.8%	5.0%

〈センター別〉

年 度	総件数	LSC いわて	LSC 北上	LSC 一関
2012 年度	280 件	262 件	6 件	12 件
	率	93.6 %	2.1 %	4.3 %
月平均	23.3 件	21.8 件	0.5 件	1.0 件

〈性別〉

総件数	男性	女性
280 件	79 件	201 件
率	28.2%	71.8%

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	不明
0 件	7 件	39 件	95 件	76 件	42 件	10 件	1 件	10 件
0.0%	2.5%	13.9%	33.9%	27.1%	15.0%	3.6%	0.42%	3.6%

総件数	広報誌	便利帳	新 聞	電話帳	チラシ	紹 介	H P	その他
280 件	3 件	16 件	75 件	124 件	21 件	16 件	5 件	20 件
率	1.1%	5.7%	26.8%	44.3%	7.5%	5.7%	1.8%	7.1%

今年度は要請ができませんでした。今後検討します。

会員拡大や利用拡大に繋がる、直接的な取り組み活動はできませんでしたが、第83回メーデー会場でのチラシ配布について連携を図りました。

勤労者福祉サービスセンターは、中小企業に働く勤労者の福利厚生面での大きな役割を担っていることから、連携を図り会員拡大や利用拡大に向けた取り組みを支援します。

3. 労働者の教育、文化、スポーツ及び交流に関する事業

(1) 労福協第23回会長杯勤労者チャリティーゴルフコンペ

- ① 日 時 2012 年 10 月 13 日(土)
- ② 場 所 盛岡南ゴルフ倶楽部
- ③ 参加数 24 名 優 勝 竹 岡 信 幸 (東北労働金庫)
準優勝 小笠原 昌 大 (全水道労組)
第3位 浦 山 正 年 (県民共済会)

(2) 第24回岩手県勤労者野球大会

- ① 日 時 2012 年 10 月 21 日(日)
- ② 場 所 雫石町営鶯宿グランド
- ③ 参加数 8 チーム
- | | | |
|-------|--------------|--------|
| 優 勝 | 永愛友クラブ | (北上地区) |
| 準優勝 | リバーマウスズ | (盛岡地区) |
| 第 3 位 | 自治労奥州市職員労働組合 | (江刺地区) |
| 第 3 位 | 盛岡ガス | (盛岡地区) |



最優秀賞	齋藤大輔	(永愛友クラブ)
殊勲賞	齋藤一弥	(永愛友クラブ)
敢闘賞	野里春彦	(リバーマウスズ)



優勝：永愛友クラブチーム



準優勝：リバーマウスズチーム

(3) 第31 岩手県勤労者美術展

- ① 開催日 2012 年 11 月 8 日(木)～11 日(日)
 ② 会 場 盛岡市民文化ホール・展示ホール (マリオス内)
 ③ 来場者 約 300 名
 ④ 出展数 199 点(絵画 56 点・写真 96 点・書道 26 点、切絵 21 点)

☆岩手県知事賞☆

絵画部門	大 澤 和 江	「雪の朝」
写真部門	平 舘 徹	「晩秋好日」
書道部門	鈴 木 里 美	「韓翃詩二首」

☆入賞者☆

【絵画部門】

優 秀 賞	堀 米 英 子	「初秋」
奨 励 賞	竹 沢 淳	「新緑の森」
奨 励 賞	浅 沼 正 夫	「上海下町旅情」
佳 作	阿 部 ケイ子	「卓上の静物」
佳 作	阿 部 実 子	「花」
佳 作	細 川 久 男	「長閑な湾」
佳 作	坂 本 偵 子	「ハイビスカス」
審査員特別賞	辻 齋 一	「遠野郷 秋景」

【写真部門】

優 秀 賞	黒 木 義 則	「呪縛」
奨 励 賞	吉 田 均	「夕陽アート」
奨 励 賞	北井崎 昇	「おじいちゃんに会える日」
奨 励 賞	佐 藤 文 明	「収穫の日」
佳 作	福盛田 弘	「朝映え」
佳 作	今 野 鎮	「たっしやで紅組」
佳 作	相 沢 正 吉	「洪水」
佳 作	金 谷 規倭子	「プリンセス」
佳 作	槻 田 久 志	「現役92歳」
親子ふれあい賞	岩 城 茂 孝	「二人三脚」
親子ふれあい賞	千 田 久	「はじめまして！」
親子ふれあい賞	斉 藤 初 枝	「おふろになれてきたね、ガッツポーズ!!」
審査員特別賞	小 原 順 次	「春日和」

【書道部門】

優 秀 賞	上 澤 裕 子	「五言絶句」
奨 励 賞	石 村 廣 志	「万葉集」
佳 作	松 江 邦 雄	「天真爛漫」
佳 作	吉 田 加奈子	「禽聲依竹」
佳 作	浅 沼 実佐子	「終日」
審査員特別賞	菅 原 ゆかり	「魏徴語」



審査員特別賞 木 内 淳 子 「和人山」
 審査員特別賞 川 下 洋 美 「毎日がスペシャル」

【切り絵】

特 別 賞 林 智恵子 「上高地河童橋／西馬音内盆踊り」

(5) 第 16 回岩手県勤労者ボウリング大会

- ① 日 時 2013 年 2 月 23 日(土)
 ② 場 所 ビッグハウススーパーレーン(盛岡市津志田町)
 ③ 参加者 44 名 (11 チーム)

〔団 体〕 優 勝 ニチイケアC盛岡西 (盛岡地区)
 準優勝 つながってアクセス (盛岡地区)
 第3位 平泉町役場 (一関地区)
 〔個人男子〕 優 勝 山 口 慶 貴 (つながってアクセス)
 準優勝 菅 原 真 二 (ニチイケアC盛岡西)
 第3位 根 市 勝 寿 (つながってアクセス)
 〔個人女子〕 優 勝 菅 原 要 子 (ニチイケアC盛岡西)
 準優勝 菊 池 優 子 (遠野)
 第3位 川 村 富士美 (検集労)



優勝：ニチイケアC盛岡西チーム



準優勝：つながってアクセスチーム

(6) 第 11 回文化講演会「復興支援チャリティー」

- ① 日 時 2013 年 2 月 16 日(土)
 ② 会 場 盛岡劇場メインホール
 ③ 内 容



第 11 回文化講演会事業として、「少しでも復興のお役に立ちたい」、「震災を忘れない」の思いから、ゲストに大槌町出身の白澤みさきさんをお迎えし、「復興支援チャリティー」と題し歌とトークをご披露いただきました。

当日は、雪の降る天候ではありましたが、県内各地から足を運んでいただいた多くの方々や大槌町の被災された方々約 40 名の招待者、秋田労福協・連合秋田からお越しいただいた方々を合わせ 370 名程にご来場をいただき盛況に開催されました。

今回は入場料全額と秋田労福協・連合秋田からの支援金、岐阜労福協からの支援金、岩手労福協チャリティーゴルフの募金など、合わせ 100 万円を支援金として大槌町へ寄贈いたしました。また、会場前のロビーでは、大槌町物産品（海産物・お酒・刺し子製品）の販売を行いました。



来場者 370 名程



大槌町の方 40 名程ご招待



入場料全額を支援金寄贈



ロビーにて物産品販売

4. 労働者の自主活動及びコミュニティ活動の支援に関する事業

- (1) 労働者の祭典である「第 83 回岩手県中央メーデー」を成功させるための助成を行いました。
- (2) 緑を育む「連合の森」に対する助成を行いました。
- (3) 「みどりを守り育てる岩手県民会議」に対する助成を行いました。
- (4) 恒久平和の取り組みに対する助成を行いました。
- (5) 県内地区労福協・勤労協に対し、8 月に「地区代表者会議」を開催し、県労福協の事業方針を提示する中で地域との連携を図りながら活動を推進しています。

今後は各地域での活動の共有化を図ります。

※各地区の活動状況は、14 頁をご参照ください。

5. その他岩手労福協の目的を達成するために必要な事業

(1) 事業団体概況報告会

加盟 6 事業団体の事業報告と取り組み課題について、理解と連携を強める場として、「事業団体概況報告会」を開催しました。

- ① 開催日 2012 年 8 月 8 日(水)
- ② 会 場 岩手労働福祉会館
- ③ 出席者 6 事業団体・3 労働団体 21 名



(2) 岩手労福協の周知事業

年始挨拶の年 1 回マスコミ 2 紙に名刺広告を掲載しました。

(3) 勤労者支援事業について

① 岩手県勤労者融資制度信用保証料助成事業

県内の勤労者が、失業時の求職活動期間、または育児や介護休業期間の生活費を労働金庫から借り入れた場合の、信用保証料の一部を助成する制度を 2004 年度より実施しています。

期 間	助成件数	助成金総額
2012/04～2013/03	1 件	3,000 円

② 岩手県労働者サポート基金協会事業

2012 年 7 月より、労働金庫で取り扱う自治体提携融資(教育資金・介護資金)をご利用いただく方に保証料の一部を助成する事業を岩手県労働者サポート基金協会が開始しました。

期 間	助成件数	助成金総額
2012/07～2013/03	26 件	707,180 円

2012年度 地区労福協の主な事業活動

地区名	開催日	事業内容	開催場所	参加者
盛岡	2012. 7. 29 8. 5/8. 26	軟式野球大会	岩手県職員総合グラウンド 盛岡市中央公園グラウンド	16チーム
	①2012. 7. 21 ②2012. 10. 27	被災地ボランティア活動	①陸前高田市広田地区 ②陸前高田市	①32名 ②29名
	2012. 11. 30	講演会「災害と子ども支援～1年6ヵ月 が経過した被災地の現状と課題」 講師：山本克彦氏（県立大学社会福祉学部）	盛岡市勤労福祉会館	50名
	2012. 12. 16	クリスマス「親子映画会」	岩手教育会館 大ホール	50名
	2013. 2. 3	交流ボウリング大会	盛岡スターレーン	10チーム(40名)
花巻	①2012. 4. 28 ②2012. 11. 4	ゴルフ教室	県民ゴルフ場(花巻市)	①10名 ②20名
	2012. 5. 19	自然観察会	金ヶ崎駒ヶ岳(金ヶ崎町)	14名
	①2012. 6. 16 ②2012. 10. 20	写真講座	①森吉山(秋田県) ②森吉山・三階滝(秋田県)	①29名 ②18名
	2012. 6. 23～24	第23回花巻勤労者美術展	花巻市文化会館 展示ホール	45名(89点)
	2012. 7. 28	鳥海山・竜ガ原湿原ハイキング	鳥海山・竜ガ原湿原(秋田県)	19名
	2012. 10. 6	黒倉山登山	黒倉山(雫石町網張)	20名
	2013. 1. 26	田沢湖スキー交流会	田沢湖スキー場(秋田県)	23名
胆沢	2012. 7. 28～30	第26回胆江地区勤労者芸術祭	胆江地区勤労者教育文化センター	195点
	2012. 12. 5	第24回働く者の芸能大会	胆江地区勤労者教育文化センター	20演目
	2013. 2. 11	勤労者麻雀大会	胆江地区勤労者教育文化センター	12名
北上	2012. 7. 29	2012年勤労者ビアガーデン	展勝地レストハウス付近	150名
	2012. 9. 22 2012. 10. 4	第57回勤労者体育大会(野球) 第57回勤労者体育大会(ボウリング)	江釣子球場・岩崎球場 北上ヤングボウル	8チーム 16チーム
江刺	2012. 8. 7	第19回勤労者ボウリング大会	ボウリング「クオリア」(奥州市)	18名
	2012. 9. 26	勤労者野球大会	江刺区中央運動公園内野球場	45名
一関	2012. 6. 13	ゴルフ交流会	みちのく古都C. C(奥州市)	32名
	2012. 7. 27	納涼の集い	J R一ノ関駅東口交流センター	322名
釜石	2012. 8. 8	2012 ビアガーデン	シープラザ遊(釜石市)	347名
久慈	2012. 8. 25	汐風のコンサート	九戸教育会館(久慈市)	46名
二戸	2012. 9. 20	労金共催ビアパーティー	二戸パークホテル(二戸市)	200名
遠野	2013. 1. 16	マネートラブルに関する学習会	遠野教育児童会館	12名
	2013. 2. 9	スキー交流会	安比高原スキー場	41名

2012年度 事務局行動日誌

(2012年 4月 ～ 2013年 3月)

月 日	行 動 内 容	場 所	出 席 者
2012			
4.	4 (財)岩手県民共済会 第306回通常理事会	山王ハイツ	小野専務
	4 岩手県労働者サポート基金協会 2012年度第1回理事会	岩手労働福祉会館	砂金理事長 他
	10 消費者行政の充実をめざすネットワークいわて 役員会議	岩手教育会館	小野専務
	18 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第1回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	23 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度総会	岩手県水産会館	小野専務
	24 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第2回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
5.	1 連合岩手 第83回岩手県中央メーデー	盛岡城跡公園広場	小野寺副会長/小野専務/武藤
	1 岩手県高齢者・退職者連合会 2012「さわやか観桜会」	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務
	9 岩手労福協 2012年度第1回四役会議	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	10 盛岡地区勤労協 第53回定期総会	盛岡市勤労福祉会館	八幡常務
10-11	北部労福協 2012年度第2回幹事会	センチュリーロイヤルホテル(札幌)	小野専務
	14 岩手労福協 2011年度決算会計監査	岩手労福協事務所	吉田監事/柴谷監事 小野専務/武藤
	14 LSCいわて 2011年度決算会計監査	岩手労福協事務所	吉田会計監査/柴谷会計監査 小野事務局長/武藤
	23 第62回「社会を明るくする運動」岩手県推進委員会	エスポワールいわて	小野専務
	24 LSCいわて 2012年度第1回理事会	岩手労働福祉会館	砂金理事長 他
	24 岩手労福協 第54回理事会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	24 岩手労福協 第1回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	28 全労済岩手県本部 事業報告会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	30 江刺区勤労協 2012年度総会	江刺バスターミナル	小野専務
6.	1-2 中央労福協 2012年度全国研究集会	ホテル国際21(長野)	砂金会長/小野専務/武藤
	5 消費者行政の充実をめざすネットワークいわて 役員会議	岩手教育会館	小野専務
	6 (財)岩手県民共済会 第307回通常理事会	山王ハイツ	小野専務
	7 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第3回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	8 東北労働金庫盛岡支店推進委員会 2012年度総会	岩手労働福祉会館	小野専務
	12 岩手県学校生活協同組合 第64期通常総代会	サンセール盛岡	砂金会長
	13 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第2回理事会	岩手労働福祉会館	小野専務
	15 情報労連岩手県協議会 第25回ゴルフコンペ	安比高原G.C(八幡平)	小野専務
	18 LSCいわて 第5回定期評議員会・講演会	岩手労働福祉会館	砂金理事長 他
	18 岩手労福協 第59回通常総会・懇親会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	20 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度消費者大会第1回実行委員会	岩手県民生活センター	小野専務
	20 「反貧困全国キャラバン2012岩手」実行委員会準備会	岩手弁護士会	小野専務
	21 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第4回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	21 岩手県生活協同組合連合会 第47期通常総会	岩手労働福祉会館	メッセージ
	25 東北労働金庫 第9回通常総会	江陽グランドホテル(仙台)	小野専務
	27 (財)岩手県民共済会 第44期期末決算監査	山王ハイツ	小野専務
7.	2-3 中央労福協 新公益法人制度移行申請・会計処理情報交換会	明治大学紫紺館(東京)	小野専務・武藤
	4 (財)岩手県民共済会 第308回通常理事会	山王ハイツ	小野専務

月 日	行 動 内 容	場 所	出 席 者
7.	4 「反貧困全国キャラバン2012岩手」 実行委員会	岩手弁護士会	小野専務
	6 宮古地方労福協 2012年度定期総会	ベルフ西町(宮古)	小野専務
	10 (財)岩手県民共済会 最初の評議員選定委員会	山王ハイツ	小野専務
	12 労福協会館在り方検討委員会「都市計画道路事業意見交換会」	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	17-18 中央労福協 第2回地方労福協会議	中野サンプラザ(東京)	小野専務
	20 労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との折衝(意見交換)	岩手労働福祉会館	小野専務
	20 連合岩手 職員研修会	ホテル安比グランド(八幡平)	小野専務/武藤/高野アドバイザー
	21 岩手県教職員組合「森越康雄さんを囲む会」	NEW WING	小野専務
	24 北上和賀地区労福協 第18回定期総会	北上和賀地区労働者福祉会館(北上)	小野専務
	25 (財)岩手県民共済会 第309回臨時理事会	岩手県高校教育会館	小野専務
	25 (財)岩手県民共済会 第42回評議員会	岩手県高校教育会館	砂金会長/小野専務
	25 (財)岩手県民共済会 第310回臨時理事会	岩手県高校教育会館	小野専務
	26 労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との折衝(意見交換)	盛岡市役所 建設部用地課	小野専務
	26-27 北部労福協 職員研修会	ホテルJALシティ仙台(仙台)	武藤
	27 一関地区労福協「納涼の集いビアパーティー」	一ノ関駅東口交流センター(一関)	小野専務
	29 岩手友愛会 第18回総会(構成組織代表者会議)	岩手労働福祉会館	メッセージ
	29 岩手友愛会「信義と友愛」団結・躍進パーティー	岩手労働福祉会館	砂金会長
	29 北上和賀地区労福協 2012年勤労者ビアガーデン	展勝地レストハウス(北上)	小野専務
	30 岩手県労働者共済生活協同組合 第55回通常総代会	岩手労働福祉会館	砂金会長
	30 全労済岩手県本部 第3回代表者会議	岩手労働福祉会館	砂金会長
	30 (財)盛岡市勤労者福祉SC 平成24年度臨時理事会・交流会	山王ハイツ	小野専務
8.	4 岩手労福協 2012年度第1回地区代表者会議	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務 武藤
	4 全国林野関連労働組合岩手県協議会 第8回総会	盛岡森林管理署	メッセージ
	7 岩手労福協 第2回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	7 岩手労福協 2012年度第1回文化体育事業実行委員会	岩手労働福祉会館	小野専務/武藤
	8 岩手労福協 2012年度事業団体事業概況報告会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務 武藤
	9-10 北部労福協 2012年度第3回幹事会	アルバートホテル秋田(秋田)	小野専務
	24 労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との折衝(意見交換)	岩手労働福祉会館	小野専務
	28 谷藤裕明市長2012ビアパーティー	NEW WING	小野専務
	29 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度消費者大会第3回実行委員会	岩手県民生活センター	小野専務
	30-31 北部労福協 第8回加盟団体・ブロック代表者合同会議	ハーネル仙台(仙台)	小野専務
9.	31 消費者信用生活協同組合 第43期通常総代会	ホテル東日本	砂金会長
	6-7 中央労福協 地方労福協事務担当者研修会	沖縄ろうきん本部会館(那覇)	武藤
	7-8 これからの暮らし仕事支援室 パーソナル・サポート講座	盛岡市上田公民館	高野アドバイザー
	8 福島県労働福祉協議会 創立50周年記念式典・祝賀会	ホテル福島グリーンパレス(福島)	砂金会長
	12 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第5回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	14 (財)岩手県民共済会 第311回通常理事会	繋温泉「愛真館」	小野専務
	14 岩手県生活協同組合連合会 ドイツの脱原発・再生可能エネルギー講演会	ホテルメトロポリタン盛岡	砂金会長
	14-15 これからの暮らし仕事支援室 パーソナル・サポート講座	盛岡市上田公民館	高野アドバイザー
9.	16 運輸労連岩手県連合会 第44回定期大会	ホテル大観	砂金会長

月 日	行 動 内 容	場 所	出 席 者
9.	18 労福協会館在り方検討委員会 青森県労福協視察	青森県労働福祉会館(青森)	砂金会長 他
	20-21 北部労福協 第37回研究集会	ホテル志戸平(花巻)	小野専務/八幡常務/武藤/高野
	24 東北労働金庫盛岡支店 会員書記・ろうきん担当者研修会	ホテルニューカリーナ	小野専務
	25 消費者行政の充実をめざすネットワークいわて 役員会議	岩手教育会館	小野専務
	25 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第6回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	25 労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との折衝(意見交換)	岩手労働福祉会館	小野専務
	26 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度消費者大会第4回実行委員会	岩手教育会館	小野専務
	26 岩手県消費者団体連絡協議会 第5回常任幹事会	岩手教育会館	小野専務
	27 秋田県労働福祉協議会 創立50周年記念式典・祝賀会	秋田県労働福祉会館(秋田)	砂金会長
	28 自治労岩手県本部 第43回定期大会	ホテル大観	砂金会長
10.	1 岩手労福協 第3回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	3 中央労福協 国際協同組合年シンポジウム	ホテルラングウッド(東京)	小野専務
	4 中小企業勤労者福祉関係団体連絡会議 第2回全体会議	ホテルサンルート有明(東京)	小野専務
	4 中央労福協 2012年度地方労福協・事業団体合同会議	ホテルサンルート有明(東京)	小野専務
	11 「いま「協同」が創る2012全国集会in東北」 実行委員会	岩手県公会堂	小野専務
	13 岩手労福協 第23回会長杯勤労者チャリティーゴルフコンペ	盛岡ハイランドC.C(花巻)	小野専務
	13 岩手県東北電力総連 第25回定時大会	岩手労働福祉会館	八幡常務
	15 岩手労福協 2012年度第2回四役会議	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	16 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度消費者大会第5回実行委員会	岩手県産業会館<サンビル>	小野専務
	16 岩手労福協 第5回理事会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	20 連合岩手 第24回年次大会	岩手県高校教育会館	小野寺副会長
	21 岩手労福協 第24回岩手県勤労者野球大会	鷹宿グラウンド(雫石)	小野専務/武藤
	21 U I ゼンセン同盟岩手県支部 第11回定期総会・記念レセプション	ホテル紫苑	砂金会長
	24 気仙地区労福協 第34回通常総会	気仙教育会館	メッセージ
	29 岩手労福協 2012知事懇談会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	29-30 中央労福協 第1回L S C実務者・相談員研修会	ホテルベルクラシック東京(東京)	高野アト・バ イザー
	30 労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との折衝(意見交換)	岩手労働福祉会館	小野専務
	30-31 南部労福協被災地視察(同行)	信用生協・沿岸被災地 他	小野専務
11.	1 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第7回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	1-2 北部労福協 2012年度第4回幹事会	大手門パルズ(山形)	小野専務
	6 岩手労福協 第4回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
	8-11 岩手労福協 第31回岩手県勤労者美術展	盛岡市民文化ホール 展示ホール	小野専務/武藤
	10 デンソー岩手労働組合 結成記念レセプション	ホテルシティプラザ北上(北上)	小野専務
	11 岩手労福協 第31回岩手県勤労者美術展・表彰式	盛岡市民文化ホール 展示ホール	砂金会長/小野専務/武藤
	14 岩手県消費者団体連絡協議会 2012年度消費者大会第6回実行委員会	利衛門	小野専務
	14 労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<全労済>	全労済岩手県本部	砂金会長/小野専務
	16 中央労福協 第5回加盟団体代表者会議	ホテルラングウッド(東京)	小野専務
	17 岩手労福協 2012退職準備サポート研修会(奥州)	奥州市総合福祉センター(奥州)	小野専務/武藤
	17 連合盛岡中央地域協議会 第7回年次大会	盛岡市勤労福祉会館	メッセージ
	17 U Aゼンセン岩手県支部 結成総会記念レセプション	お箸家「柚子」	小野専務

月 日	行 動 内 容	場 所	出 席 者
11. 18	岩手労福協 2012退職準備サポート研修会(北上)	さくらホール(奥州)	小野専務/武藤
21-22	北部労福協 第48回定期総会	青森労働福祉会館(青森)	砂金会長/来内副会長/小野専務 武藤
22	岩手県高齢者・退職者連合会 第20回定期総会	岩手労働福祉会館	砂金会長
25	二戸地区労福協 第11回総会	二戸ロイヤルパレス(二戸)	小野専務
26	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<労金>	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
26	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<ハ・ホ・信用生協・学生協>	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
26	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<平瀬センター・友愛会>	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
28	労福協会館在り方検討委員会 盛岡市との交渉	労福協事務所	小野専務/八幡常務
28	岩手労福協 第5回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
28	岩手労福協 2012年度第3回四役会議	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
29	岩手労福協 第56回理事会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
29	岩手労福協 2012年度第2回文化体育事業実行委員会	岩手労働福祉会館	小野専務/武藤
12. 1	岩手労福協 2012退職準備サポート研修会(盛岡)	盛岡市勤労福祉会館	八幡常務/武藤
1	平和環境岩手県センター 第23回定期総会	岩手労働福祉会館	砂金会長
3	(財)岩手労働福祉会館 2012年度第8回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
4	久慈地区労福協 2012年度総会	九戸教育会館(久慈)	小野専務
6	(財)岩手県民共済会 第313回通常理事会	山王ハイソ	小野専務
6	(財)岩手労働福祉会館 2012年度第3回理事会	岩手労働福祉会館	小野専務
13	遠野地区労福協 2013年度通常総会	遠野教育児童会館(遠野)	小野専務
17	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<全労済>	全労済岩手県本部	砂金会長/小野専務
19	(財)岩手労働福祉会館 2012年度第9回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
19	労福協会館在り方検討委員会 税務相談	秋山会計事務所	小野専務 他
21	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<全労済>	岩手労働福祉会館	小野専務
25	労福協会館在り方検討委員会 盛岡市長要請	盛岡市役所市長室	小野専務 他
25	労福協会館在り方検討委員会 意見交換会<労金>	東北労働金庫岩手県本部	小野専務
25	労福協会館在り方検討委員会 税務相談	秋山会計事務所	小野専務 他
27	岩手労福協 第6回会館在り方検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長/小野専務/八幡常務
27	岩手労福協 第57回理事会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
28	(財)岩手労働福祉会館 2012年度第10回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
2013 1. 6	岩手労福協 2012年度第4回四役会議	岩手県産業会館<サンビル>	砂金会長 他
6	連合岩手 2013年新春旗開き	岩手県産業会館<サンビル>	小野寺副会長/小野専務 武藤/高野アト・バ・イター
9	(財)岩手労働福祉会館 2012年度第11回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
9	情報労連岩手県協議会 2013年新春の集い	岩手労働福祉会館	小野専務
10	連合二戸・二戸地区労福協 2013新春旗開き	水光苑(二戸)	小野専務
12	自治労岩手県本部 2013年躍進旗開き	自治労岩手県本部会議室	砂金会長
12	運輸労連岩手県連合会 2013年躍進旗開き	岩手労働福祉会館	八幡常務
12	電機連合東奥羽地方協議会 2013年新春旗開き	ホテルシティプラザ北上(北上)	小野専務
13	岩手郡労福協 2013岩手地区勤労者旗開き	滝沢村公民館(滝沢)	小野専務
13	ＵＡゼンセン岩手県支部 2013新春旗開き	岩手労働福祉会館	小野専務

月 日	行 動 内 容	場 所	出 席 者
1.	14 岩手友愛会 2013年新春「民社・友愛合同旗開きの会」	岩手労働福祉会館	砂金会長
	14 平和環境岩手県センター 2013年躍進旗開き	岩手県産業会館<サンビル>	砂金会長
	15 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第12回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	18 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第4回理事会	岩手労働福祉会館	小野専務
	18 連合久慈・久慈地区労福協 2013年新春合同旗開き	久慈グランドホテル(久慈)	小野専務
	24 (財)岩手県民共済会 第45期 [2012年度] 上半期決算監査	山王ハイツ	小野専務
	29 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第13回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	30 L S Cいわて 2012年度第2回理事会	岩手労働福祉会館	砂金理事長 他
	30 L S Cいわて 2012年度学習会	岩手労働福祉会館	理事・アドバイザー
	30 岩手労福協 2013年新春交賀会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
2.	1 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第14回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	2 連合岩手 第37回地方委員会	岩手労働福祉会館	小野寺副会長
	3 みどりを守り育てる岩手県民会議 第21回定期総会	岩手労働福祉会館	小野専務
	4 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第5回理事会	岩手労働福祉会館	小野専務
	5 岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室 打合せ	岩手県庁	小野専務
	5 大槌町役場 第11回文化講演会打合せ	大槌町役場	小野専務
	7 (財)岩手県民共済会 第314回通常理事会	山王ハイツ	小野専務
	7 一関地区労福協 2012年度定期総会	料亭 梅茂登(一関)	小野専務
	12 (財)岩手労働福祉会館 第1回会館建設検討委員会事務作業部会	岩手労働福祉会館	小野専務
	12 (財)岩手労働福祉会館 第2回会館建設検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
	12 岩手県社会福祉協議会 企業・勤労者の社会貢献推進セミナー	ふれあいランド岩手	小野専務(※講師)
	14 各県労福協・東北労働金庫事務局 打合せ会議	東北労働金庫本部(仙台)	小野専務
	16 岩手労福協 第11回文化講演会復興支援チャリティー	盛岡劇場メインホール	砂金会長 他
	20 連合青森 L S C 視察来訪	L S Cいわて	小野専務/高野アドバイザー
	22 これからの暮らし仕事支援室 第2回パーソナル・サポート講座	アイーナ	高野アドバイザー
	23 岩手労福協 第17回岩手県勤労者ボウリング大会	BigHouseスーパーレーン	小野専務・武藤
	26 (財)盛岡市勤労者福祉 S C 平成24年度第2回理事会	山王ハイツ	小野専務
	28 (財)岩手労働福祉会館 第3回会館建設検討委員会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他
3.	7 (財)岩手労働福祉会館 2012年度第15回三役会議	岩手労働福祉会館	小野専務
	11 関口税理士事務所 税務相談	関口税理士事務所(東京)	小野専務
	12-13 中央労福協 第3回地方労福協会会議	郡山ビューホテルアネックス(郡山)	小野専務
	14 (財)岩手労働福祉会館 第2回会館建設検討委員会事務作業部会	岩手労働福祉会館	小野専務
	16 岩手労福協 2012家庭介護セミナー(盛岡)	ニチイ学館盛岡マリオス教室	小野専務・武藤
	16 岩手県交通労働組合 学習会	ホテル偕楽苑	小野専務(※講師)
	17 岩手労福協 2012家庭介護セミナー(北上)	ニチイ学館北上教室	小野専務・武藤
	22 岩手労福協 第1回役員選考委員会	岩手労働福祉会館	小野専務/八幡常務
	22 岩手労福協 第58回理事会	岩手労働福祉会館	砂金会長 他

第2号議案 2012年度会計報告並びに監査報告に関する件

【一般会計】

収支計算書

自 2012年 4月1日 ～ 至 2013年 3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	執行率
人会金収入	0	10,000	10,000	0.00 %
会費収入	24,670,000	24,680,000	10,000	100.04 %
事業収入	0	0	0	0.00 %
補助金収入	0	0	0	0.00 %
負担金収入	300,000	176,000	△124,000	58.67 %
寄付金収入	0	0	0	0.00 %
受取利息	20,000	830	△19,170	4.15 %
雑収入	100,000	156,230	56,230	156.23 %
特定預金取崩収入	4,500,000	4,500,000	0	100.00 %
小 計	29,590,000	29,523,060	△66,940	99.77 %
前期繰越金	3,033,442	3,033,442	0	100.00 %
収 入 合 計	32,623,442	32,556,502	△66,940	99.79 %

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	執行率
事業費	20,558,900	21,249,399	△690,499	103.36 %
役員報酬	2,236,000	2,236,000	0	100.00 %
給与手当	946,000	969,255	△23,255	102.46 %
行動費	378,400	378,400	0	100.00 %
福利厚生費	516,000	525,694	△9,694	101.88 %
諸謝金	950,000	1,128,636	△178,636	118.80 %
会議費	500,000	260,700	239,300	52.14 %
諸会議費	830,000	679,850	150,150	81.91 %
渉外費	830,000	914,511	△84,511	110.18 %
旅費交通費	1,240,000	1,373,120	△133,120	110.74 %
通信運搬費	388,000	471,643	△83,643	121.56 %
消耗品費	55,000	43,190	11,810	78.53 %
印刷製本費	1,015,000	1,474,021	△459,021	145.22 %
光熱水量費	52,000	48,063	3,937	92.43 %
賃借料	842,500	833,977	8,523	98.99 %
負担金支出	360,000	344,500	15,500	95.69 %
主催事業費	1,790,000	2,518,474	△728,474	140.70 %
相談事業費	2,500,000	2,500,000	0	100.00 %
地区労福協事業費	3,000,000	2,646,424	353,576	88.21 %
助成金支出	1,800,000	1,803,000	△3,000	100.17 %
広告支出	300,000	83,785	216,215	27.93 %
雑費	30,000	16,156	13,844	53.85 %
管 理 費	10,921,100	10,768,531	152,569	98.60 %
役員報酬	4,208,000	4,208,000	0	100.00 %
給与手当	1,774,000	1,800,046	△26,046	101.47 %
行動費	701,600	701,600	0	100.00 %
福利厚生費	984,000	976,289	7,711	99.22 %
退職金	0	60,000	△60,000	0.00 %
会議費	200,000	121,750	78,250	60.88 %
渉外費	250,000	216,215	33,785	86.49 %
旅費交通費	250,000	398,320	△148,320	159.33 %
通信運搬費	60,000	51,390	8,610	85.65 %
消耗什器備品費	350,000	147,160	202,840	42.05 %
消耗品費	20,000	16,277	3,723	81.39 %
印刷製本費	20,000	7,350	12,650	36.75 %
光熱水量費	96,000	89,260	6,740	92.98 %
賃借料	1,757,500	1,732,106	25,394	98.56 %
租税公課	80,000	73,500	6,500	91.88 %
寄付金支出	0	0	0	0.00 %
事務所費	150,000	152,012	△2,012	101.34 %
雑費	20,000	17,256	2,744	86.28 %
固定資産取得支出	0	0	0	0.00 %
敷金・保証金支出	0	0	0	0.00 %
借入金返済支出	0	0	0	0.00 %
特定預金支出	0	0	0	0.00 %
事業支援積立金支出	0	0	0	0.00 %
退職給与引当預金支出	0	0	0	0.00 %
予備費	1,143,442	0	1,143,442	0.00 %
支 出 合 計	32,623,442	32,017,930	605,512	98.14 %
当期収支差額	△3,033,442	△2,494,870	△538,572	
次期繰越収支差額	0	538,572	△538,572	

貸 借 対 照 表

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	0	39,935	△39,935
普通預金（東北労働金庫）	762,482	3,204,416	△2,441,934
流 動 資 産 合 計	762,482	3,244,351	△2,481,869
2. 固定資産			
其他固定資産			
出 資 金（東北労働金庫）	173,000	173,000	0
其他固定資産合計	173,000	173,000	0
固 定 資 産 合 計	173,000	173,000	0
資 産 合 計	935,482	3,417,351	△2,481,869
II 負債の部			
1. 流動負債			
預 り 金	223,910	210,909	13,001
流 動 負 債 合 計	223,910	210,909	13,001
負 債 合 計	223,910	210,909	13,001
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	711,572	3,206,442	△2,494,870
正 味 財 産 合 計	711,572	3,206,442	△2,494,870
負債及び正味財産合計	935,482	3,417,351	△2,481,869

2012年度 会費収入(団体会費)内訳

団 体 名	会 費 金 額
東北労働金庫岩手県本部	12,010,000
全労済岩手県本部	6,310,000
財団法人岩手県民共済会	2,950,000
財団法人岩手労働福祉会館	680,000
消費者信用生活協同組合	600,000
岩手県学校生活協同組合	310,000
連合岩手	1,630,000
平和環境岩手県センター	30,000
岩手友愛会	20,000
盛岡地区勤労者協議会	10,000
花巻市勤労者福祉協議会	10,000
気仙地区労働者福祉協議会	10,000
宮古地方労働者福祉協議会	10,000
胆沢地方労働者福祉協議会	10,000
北上和賀地区労働者福祉協議会	10,000
江刺区勤労者福祉協議会	10,000
一関地区労働者福祉協議会	10,000
遠野地区労働者福祉協議会	10,000
釜石地区労働者福祉協議会	10,000
岩手郡労働者福祉協議会	10,000
久慈地区労働者福祉協議会	10,000
二戸地区労働者福祉協議会	10,000
東磐井郡労働者福祉協議会	10,000
会 費 収 入 合 計	24,680,000

※2012年度入会

正味財産増減計算書

自 2012年4月1日 ～ 至 2013年3月31日

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金収入	10,000	0	10,000
会費収入	24,680,000	24,910,000	△230,000
負担金収入	176,000	182,000	△6,000
受取利息	830	1,209	△379
雑収入	156,230	2,495,358	△2,339,128
特定預金取崩収入	4,500,000	2,000,000	2,500,000
経常収益計	29,523,060	29,588,567	△65,507
(2) 経常費用			
事業費	21,249,399	19,708,261	1,541,138
役員報酬	2,236,000	0	2,236,000
給与手当	969,255	0	969,255
行動費	378,400	1,080,000	△701,600
福利厚生費	525,694	0	525,694
諸謝金	1,128,636	511,385	617,251
会議費	260,700	320,775	△60,075
諸会議費	679,850	647,180	32,670
渉外費	914,511	3,270,275	△2,355,764
旅費交通費	1,373,120	1,034,560	338,560
通信運搬費	471,643	385,924	85,719
消耗品費	43,190	27,285	15,905
印刷製本費	1,474,021	1,312,890	161,131
光熱水量費	48,063	86,332	△38,269
賃借料	833,977	1,909,836	△1,075,859
負担金支出	344,500	216,000	128,500
保険費	-	28,960	△28,960
主催事業費	2,518,474	1,857,700	660,774
相談事業費	2,500,000	2,500,000	0
地区労協事業費	2,646,424	2,638,334	8,090
助成金支出	1,803,000	1,800,000	3,000
広告支出	83,785	71,250	12,535
雑費	16,156	9,575	6,581
管理費	10,768,531	10,128,692	639,839
役員報酬	4,208,000	5,040,404	△832,404
給与手当	1,800,046	2,316,334	△516,288
行動費	701,600	0	701,600
福利厚生費	976,289	690,184	286,105
退職金	60,000	0	60,000
会議費	121,750	229,248	△107,498
渉外費	216,215	252,104	△35,889
旅費交通費	398,320	375,570	22,750
通信運搬費	51,390	48,189	3,201
消耗什器備品費	147,160	44,800	102,360
消耗品費	16,277	18,111	△1,834
印刷製本費	7,350	18,690	△11,340
光熱水量費	89,260	44,485	44,775
賃借料	1,732,106	689,532	1,042,574
租税公課	73,500	75,000	△1,500
負担金支出	-	133,500	△133,500
事務所費	152,012	147,591	4,421
雑費	17,256	4,950	12,306
他会計への繰出支出	0	2,000,000	△2,000,000
事業支援積立金支出	0	2,000,000	△2,000,000
退職給与引当金支出	0	0	0
予備費	0	0	0
経常費用計	32,017,930	31,836,953	180,977
当期経常増減額	△2,494,870	△2,248,386	△246,484
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,494,870	△2,248,386	△246,484
一般正味財産期首残高	3,206,442	5,454,828	△2,248,386
一般正味財産期末残高	711,572	3,206,442	△2,494,870
II 正味財産期末残高	711,572	3,206,442	△2,494,870

【退職給与引当金会計】

収支計算書

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
次期繰越金	6,208,008	前期繰越金	6,206,771
		受取利息	1,237
合 計	6,208,008	合 計	6,208,008

貸借対照表

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	6,208,008	次期繰越金	6,208,008
合 計	6,208,008	合 計	6,208,008

普通預金 東北労働金庫盛岡支店

【事業活動支援積立金会計】

収支計算書

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
一般会計へ繰出	4,500,000	前期繰越金	6,029,494
次期繰越金	1,529,894	受取利息	400
合 計	6,029,894	合 計	6,029,894

貸借対照表

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	1,529,894	次期繰越金	1,529,894
合 計	1,529,894	合 計	1,529,894

普通預金 東北労働金庫盛岡支店

【特別会計】

収支計算書

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
次期繰越金	74,324,506	前期繰越金	74,309,171
		受取利息	15,335
合 計	74,324,506	合 計	74,324,506

貸借対照表

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	69,248,535	次期繰越金	74,324,506
定期預金	5,075,971		
合 計	74,324,506	合 計	74,324,506

普通預金 東北労働金庫盛岡支店

定期預金 東北労働金庫盛岡支店

<総括表>

財 産 目 録

2013年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	0		
普通預金 東北労働金庫盛岡支店<一般会計>	762,482		
普通預金 東北労働金庫盛岡支店<退職会計>	6,208,008		
普通預金 東北労働金庫盛岡支店<事業会計>	1,529,894		
普通預金 東北労働金庫盛岡支店<特別会計>	69,248,535		
定期預金 東北労働金庫盛岡支店<特別会計>	5,075,971		
流 動 資 産 合 計		82,824,890	
2. 固定資産			
その他の固定資産			
出 資 金 東北労働金庫	173,000		
その他の固定資産計		173,000	
固 定 資 産 合 計		173,000	
資 産 合 計			82,997,890
II 負債の部			
1. 流動負債			
預 り 金 社会保険料・源泉所得税他	223,910		
流 動 負 債 合 計		223,910	
2. 固定負債			
固 定 負 債 合 計	0	0	
負 債 合 計			223,910
正 味 財 産			82,773,980

財務諸表に対する注記

1. 会計方針の変更

平成18年度より、新公益法人会計基準による会計処理方法を適用している。

一般会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、流動資産及び流動負債を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、2に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	39,935	0
普通預金	3,204,416	762,482
合 計(A)	3,244,351	762,482
預 り 金	210,909	223,910
合 計(B)	210,909	223,910
次期繰越収支差額 (A)-(B)	3,033,442	538,572

2012年度 会計監査報告

社団法人岩手県労働者福祉協議会の2012年度一般会計ならびに特別会計について監査した結果、定款第39条に基づき下記のとおり報告いたします。



記

1. 監査実施月日 2013年 5月16日 (木) 15:00～
2. 監査実施場所 社団法人岩手県労働者福祉協議会 事務所
3. 監 査 対 象 2012年度一般会計ならびに特別会計
4. 監査対象期間 2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月31日
5. 監 査 結 果 会計処理状況ならびに決算について、付帯する会計諸帳簿、会計伝票、諸証憑の点検と計算の結果、決算書の通り正確であることを確認いたしました。
6. 監 査 所 見 特になし

以 上

2013年 5月16日

社団法人 岩手県労働者福祉協議会
会 長 砂 金 文 昭 殿

監 事 川崎 剛男 
監 事 柴谷 正孝 

第 3 号議案 役員選任に関する件

2013～2014 年度役員選任(案)は、別途提案いたします。

(参考)

定款第 13 条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事は互選により、会長、副会長、専務理事及び常務理事を選任する。

3 理事及び監事は、相互にこれを兼ねることができない。

定款第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任されることができる。

2 補欠または増員により選任された役員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

第 4 号議案 そ の 他

＜各事業団体の現状と事業計画＞

東北労働金庫岩手県本部……………P28～P30

全労済岩手県本部……………P30～P32

(財)岩手県民共済会……………P32～P33

(財)岩手労働福祉会館……………P33～P34

消費者信用生活協同組合……………P34～P35

岩手県学校生活協同組合……………P36

＊ 東北労働金庫 岩手県本部 ＊

【2012年度営業概況報告】

1. 2012年度営業概況報告

2012年度は、いまだ大震災や原発事故の影響が残る中、福祉金融機関としての役割を最大限に発揮し、会員・推進機構との連携強化によって、東北ろうきん全体として「会員の皆様のお役に立てるろうきん」を目指し、「提案型営業」を取り組んでまいりました。

基盤拡大や各種キャンペーンの結集等、推進委員会・友の会をはじめ、会員の皆さまのご支援に心から感謝を申し上げ、以下2012年度営業概況についてご報告いたします。

2. 2012年度東北労働金庫の預貸金概況

(1) 預金

預金増加計画は400億円の目標に対し、総預金増加実績が501億円となり、計画を達成いたしました。ただし個人預金は住宅建替や修繕などの震災関連費用の支出等の影響もあり、計画には届かず増加額は327億円に留まりました。

(単位：百万円、%)

	期末残高		期中増加額			増加率
	目標	実績	目標	実績	達成率	
2010年度	1,460,021	1,477,291	46,000	63,271	137.55	4.47
2011年度	1,506,175	1,559,837	30,000	83,662	278.87	5.67
2012年度	1,599,837	1,609,925	40,000	50,088	125.22	3.21

(2) 貸出金

貸出金増加計画は100億円を目標としましたが、他行との金利競争や無担保の伸び悩み等により増加実績は▲52億75百万円となり、昨年度に続き2期連続での期首割れとなりました。

(単位：百万円、%)

	期末残高		期中増加額			増加率
	目標	実績	目標	実績	達成率	
2010年度	1,097,627	1,078,553	35,000	15,926	45.50	1.50
2011年度	1,103,551	1,065,649	25,000	▲12,902	▲51.61	▲1.20
2012年度	1,075,649	1,060,374	10,000	▲5,275	▲52.75	▲0.50

3. 2012年度岩手県本部の預金・貸出金の概況

(1) 預金

- 2012年度純増目標68億71百万円に対する実績は76億97百万円と目標を上回る実績となりましたが、個人預金のみでは計画に届きませんでした。
- 震災に関わる保険金や義援金が地域の復興と同時に住宅再建やリフォーム資金として払戻しが続いた他、相続に関連した払戻しも多く発生しました。

単位：百万円

預金	2012年度	2011年度	2010年度
純増目標額	6,871	4,612	7,625
純増実績額	7,697	17,979	11,777
うち個人	6,422	15,053	11,899
うち団体	1,275	2,926	▲122
期末目標残高	277,799	257,561	248,797
期末実績残高	278,625	270,928	252,949
純増達成率	112.0%	389.8%	154.5%

※団体とは労働組合、各市町村等自治体

(2) 貸出金

- 2012 年度純増目標 17 億 21 百万円に対する実績は7億94百万円と目標を大きく下回る実績となりました。

- 目標を大きく下回った要因として

- ① 主要商品全体で新規貸出は昨年度を上回りましたが、震災前の 2010 年度に比べ下回りました。

- ② 住宅ローンは過去 3 年で最も多い新規貸出金額でしたが、昨年に引き続き他行に借換られるケースが多く発生しました。

単位:百万円

貸出金	2012年度	2011年度	2010年度
純増目標額	1,721	4,294	5,905
純増実績額	794	▲ 1,515	3,361
うち個人	1,589	▲ 1,338	4,077
うち団体	▲ 796	▲ 177	▲ 716
期末目標残高	175,669	179,757	181,368
期末実績残高	174,742	173,948	175,463
純増達成率	46.1%	▲ 35.3%	56.9%

※団体とは労働組合、各市町村等自治体

【2013年度事業計画】

1. 2013年度事業の方針

2013 年度は第 4 期中期経営計画の中間年度として、「統一」に向けた各種課題の着実な実行、さらには新たなステージに向けた「飛躍」に取り組む年度となります。また、ろうきん業態の最重要課題の1つである 2014 年 1 月の次世代システムへの移行完遂と安定稼働の実現が求められます。2013 年度は東北ろうきんが誕生して 10 周年を迎える一方で、労働金庫法施行 60 周年でもあり、この間のろうきん運動に対する会員・利用者の皆様のご理解とご協力に感謝の意を表するとともに、各種課題の整理・課題に取り組んでまいります。

2. 2013年度事業の基本方針

- (1) 会員との協働で進む社会との共生を目指します。
- (2) 経営基盤を強化し金融機関として会員の信頼に応えます。
- (3) 次世代システムへの円滑な移行を図ります。
- (4) 震災からの復旧・復興、被災者への支援継続に取り組めます。

3. 預金・貸出金目標

(1) 東北労働金庫 2013 年度目標

(単位:百万円、%)

預 金			貸出金		
期末残高目標	期中純増目標	増加率	期末残高目標	期中純増目標	増加率
1,656,734	45,000	2.79	1,075,376	15,000	1.41

(2) 岩手県本部 2013 年度目標

＝ 2013 年度岩手県本部重点推進項目 ＝

1. 積極的な積立型預金の新規ご契約や増額のご提案
2. 住宅ローン〈Change500〉をはじめとした「借換商品・制度」の周知とご提案
3. 社会貢献活動の一環としての社会貢献目的預金「ふれ愛預金」の推進

＝ 2013年度岩手県本部預貸純増目標＝

預 金		貸出金	
期末目標残高	期中純増目標	期末目標残高	期中純増目標
286,462 百万円	7,837 百万円	177,277 百万円	2,535 百万円

* 全労済 岩手県本部 *

【2013年度計画】

はじめに

この間、2012年度活動計画にもとづき職域・地域とも、さまざまな課題への取り組みを展開してまいりました。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災から2年が経過しましたが、東日本大震災の被災受付は減少傾向がみられるものの、今もなお被災受付が続いており、最後のお一人まで優先的な対応をすすめております。

さて、2013年度は、全労済中期経営政策「2009年度～2013年度（5ヵ年計画）」の最終年度にあたり、「取り組みの仕上げと次期への準備期間」として、「対面推進を基軸とした事業推進体制の再構築」・「中期経営政策期間中の事業推進戦略」の確実な実行をすすめてまいります。

今後も、より多くの組合員および勤労者との接点機会を拡大し、協力団体・組合員から信頼され、期待される全労済、「たすけあい」「安心」など「組合員の全労済」を目指した活動をすすめる他、「最後のお一人まで」東日本大震災にて被災に遭われた組合員の皆様への対応をすすめてまいります。

<東日本大震災での共済金お支払い状況（2013年4月末）>

共 済 名	件 数	支 払 額
火 災 共 済	10,883 件	29 億 4,483 万円
自然災害共済	4,662 件	49 億 6,337 万円
生 命 共 済	275 件	14 億 6,495 万円
合 計	15,820 件	93 億 7,315 万円

2013年度は、東日本大震災での対応を最優先としながらも、「運動」と「事業」の両輪をさらに進め、よりよい共済制度と保障相談サービスを提供し、安心・安全に暮らすことのできる社会づくりに貢献して参ります。

1. 2013年度の主な推進活動

(1) こくみん共済

- ①「こくみん共済30周年記念」キャンペーン
- ②契約確認活動による保障分野の点検・推進

- ③対面推進の強化（支所窓口誘導キャンペーン）
- （２） マイカー共済・自賠責共済
 - ①双方のマッチングデータを活用した推進
 - ②マイカー共済・自賠責共済の見積もり・車検満了データ獲得
 - ③未継続・解約者への対応強化
- （３） 火災共済・自然災害共済
 - ①「新おすすめプラン」を活用した切替推進強化
 - ②「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」の未対応への取り組み
 - ③離・退職者への確実なフォローの取り組みの強化
- （４） 団体生命共済
 - ①一律 500 万円（50 口）加入の実現を目指した提案（全協力団体）
 - ②生涯生活保障設計運動の展開による保障の見直し
 - ③離・退職者への確実なフォローの取り組みの強化
- （５） 長期系共済
 - ①対面推進の保障提案活動における終身共済の推進強化
 - ②新団体年金共済の新規推進・既加入者の増口推進の取り組み

2. 事業推進活動の強化

- （１） 離・退職者（団塊の世代）への対面推進による取り組み強化
- （２）「生涯生活保障設計運動」の推進強化
- （３） 推進チャネルの開発・整備
- （４） エリア拠点における新たな推進展開
- （５） 広告宣伝活動の取り組みの強化
- （６） 生活保障プランナーの拡大に向けた取り組み
- （７） 共済募集人継続研修の確実な実施
- （８） 連合・労福協との連携強化
- （９） 産別組織・県単産・広域労組との連携強化
- （１０） 岩手県推進会議・各地区推進委員会・地域推進委員との連携強化
- （１１） 協力団体への直接不備問い合わせ・請求書類の直接送付に向けた取り組みの継続実施
- （１２） 国際協同組合年（2012 年）を踏まえ実行委員会参加の各協同組合と一体となった取り組みの展開
- （１３） 内線 IP 電話網を活用した対面推進誘導の試行展開と検証
- （１４） コンプライアンス徹底に関する取り組みの継続実施

3. 2013年度計画期間中に実施する課題

- （１） 団体生命共済の改定（2013 年 6 月実施）
- （２） 総合共済再共済の改定・自動車共済再共済の開発（2013 年 6 月実施）

4. 2013年度計画期間中に着手する課題

- (1) 団体定期生命共済の改定 (2014 年 8 月実施予定)
- (2) 火災共済の改定 (2015 年 2 月実施予定)

*** ハピネス共済会 (財団法人 岩手県民共済会) ***

第 4 6 期事業計画 (案)

公益法人制度改革関連法が平成 20 年 12 月 1 日に施行がされ、平成 25 年 11 月 30 日までの間に新法人(一般財団法人)への移行を行わなければなりません。また、新法人移行と同時に保険業法が全面適用となり、共済事業の継続は困難となっておりましたが、平成 23 年 5 月 13 日に施行されました、「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」により、一定の要件を満たし、「特定保険業」の認可を受けることで、共済事業(保険事業)の継続は可能となったことから、「特定保険業」の認可申請を行い、昨年 12 月 21 日に認可を取得する事ができました。

よって、本年 1 月 22 日に「一般財団法人」の認可申請を行い、「一般財団法人」への移行に向けた準備を進めているところです。

1. 共済事業と施設事業について

「特定保険業」の認可取得には、健全な運営ができる共済商品(保険商品)が認可基準となることから、新法人移行時まで健全な運営が見込まれない共済商品(保険商品)については、取り扱いを終了(廃止)させて頂かなければならないことから、医療共済 9 商品のうち「医療共済ハピネス」「新しいぶき」「タスかるじゃ」の 3 商品を継続事業とし、今年度(5 月 31 日)をもって 6 商品の終了(廃止)について、加入会員(団体)の皆様のご理解を深めているところです。また、火災共済については本年 3 月 31 日をもって終了(廃止)とさせていただきました。

施設事業につきましては、山王ハイツにおいては家賃等を考慮した結果、満室状態となっていました。が、昨年 4 月に 1 室が退去したことから、入居対策を講じているところです。

また、ホテル事業につきましては、盛岡市内に新規オープンが相次いだことから宿泊客が減少していましたが、宿泊料金の値下げ及び駐車場が完備されているなど、他ホテルとの優位な点を前面に出したことから、徐々に回復傾向にあります。

なお、サンハピネスにつきましては、事務所部分については自治労岩手県本部様に入居していただいております。居室部分については若干の変動はあるものの満室状況が続いております。

2. 公益福祉事業の展開

平成15年6月1日より医療共済加入者とその家族の皆様を対象に、24時間電話健康相談として「ハピネス健康相談室」を開設し、会員の皆様の健康相談に応じる体制を確立してきましたが、会員の皆様の利用率はいまひとつという状況にあり、事業の縮小ということもあり会員の皆様のご意見を聞く中から、今年度(本年5月31日)をもって終了することとしました。

さらに、弊会の公益事業として位置づけられる、岩手県生活問題研究会においては環境問題の先覚者であり、今後も研究会の自主的運営を保障しつつ、ますます深刻化する環境問題を地方・地域から警鐘を発信して頂くという観点から、新会員の拡大・横への広がり求め、これまで以上に社会への影響拡大を求めています。

* (財)岩手労働福祉会館 *

【2012年度事業概況】

2012年度の会館運営は、公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行措置を決定しました。

また、都市計画による道路拡幅のため、敷地の一部減少及び建物の改修について盛岡市との本格協議に入りました。

こうした中で、社団法人岩手県労働者福祉協議会に対し、会館あり方検討委員会の設置を要請し、会館建設に係る答申を得ました。

収益事業については、会議・宴会・仕出しの各部門において、例年並みの売上を確保することができました。

管理面において、職員3人の退職補充を行わず、外部派遣等による補完をしながらも、従前の職務範囲を拡大しての職員の努力により、営業収益を一定程度確保することができました。

会館利用団体の動向を見ると、一般企業・町内会団体等の任意団体の利用が増加傾向にあります。更には、労働者福祉事業団体の利用により、正に、労福協傘下の構成団体の活動拠点として活用されております。

【2013年度事業計画の概要】

2013年度は、一般財団法人への移行措置を行うこととしながらも、都市計画道路の拡幅工事に係る盛岡市との土地の売買契約等、会館運営の大きな節目を迎えることとなります。

1972年のオープン以来、労働運動の拠点として、多くの労働組合組織の支援をいただきながら運営を続けてこられたことに厚く感謝するものであります。

普遍的な労働者の砦として、更に事業の拡充に専心することを基本としながら、時代の趨勢に追

随する施策等を推進することを念頭に、労働者福祉協議会の主導のもとに新たな時代の労働福祉会館の建設に向けた具体的計画の策定に着手します。

*** 消費者信用生活協同組合 ***

【2012年度活動概況報告】

2012年度は、生活困窮者・被災者への生活相談支援の継続、生協制度による相談・貸付事業の拡大支援、生活資金貸付（セーフティネット貸付）事業の新たなビジネスモデル確立の3つを重点課題として取組みました。

1. 生活困窮者・被災者への生活相談支援の継続

- ① 「消費者行政の充実をめざすネットワークいわて」の構成員として、被災地において弁護士や司法書士による私的整理ガイドラインの説明や、各種支援制度についての個別相談を行う「やさしい制度説明会」開催に協力をいたしました。また、釜石相談センターにおいては、フリーダイヤルによる相談窓口を設置し、継続的な相談支援を行いました。
- ② 地域で生活困窮者の再建支援活動を行っている「生活再建支援機構いわて」と協働で「あすからのくらし相談室・釜石」を開設いたしました。パーソナル・サポートの手法を用いて、生活困窮者に対し個別的、継続的、制度横断的に自立支援を行う相談窓口として現在も相談事業を行っており、信用生協から相談員2名を派遣し支援活動を行いました。
- ③ 岩手県の自殺対策緊急強化事業を受託し、経済的理由による自殺防止を目的とする「お金の悩みホットライン」を開設。フリーダイヤルによるお金に関わる電話相談に対応しております。昨年度(2012.4～2013.3)1年間に566件の電話相談が寄せられており金融的に排除された方や生活困窮者へ適切な相談・貸付窓口への誘導を行いました。

2. 生協制度による相談・貸付事業の拡大支援

生協制度による相談・貸付事業を推進、拡充するにあたり、日本生協連主催により「事業モデル構築における中間報告会」を盛岡市内で開催。併せて信用生協本部・盛岡相談センターを会場に実地セミナーを開催し、生協関係者計27名が参加。その事業モデルとなる「みやぎ生協」からの相談員研修の受け入れや一連の業務フロー、システム開発に際して全面的に支援、アドバイスを行っております。

3. 生活資金貸付事業の新たなビジネスモデルの確立

- ① コスト構造改革の一環として、新年度より内部組織改革を手始めに実施予定であり、次年度においても継続課題とする。
- ② 生活再建を目的とした相談・貸付事業を行う家計再建支援事業者として、相談員における家計診断能力の向上を目的に研修を実施。関係機関である社会福祉協議会の生活福祉資金担当者との

連携については、研修や相談会開催を通じ今後も強化していく。

- ③ 反社会的勢力に対する基本方針を策定し、反社会的勢力による被害を防止すべく、外部講師を招き職員研修を実施するなど、組織一体となった取り組みを今後も継続する。

【2013年度重点取り組み】

2013年度は、事業構造の改革を推し進めるため、次の項目を重点に取り組みます。

1. 相談貸付事業

- ① 本部機能と各センター事務所機能の分担の明確化
- ② 秋田県進出のための再構築
- ③ 高齢者向け不動産担保ローンの開発
- ④ 営業推進広報室の設置による告知活動などの強化
- ⑤ 融資稟議システム改善のための組織の再編
- ⑥ 新貸付システムの導入
- ⑦ 貸付事業規約等の内部定期研修の実施
- ⑧ 職員教育の体系化と計画的実施
- ⑨ 出資金増加、返戻対策としての組合員加入メリットの構築
- ⑩ 銀行、信金、社協などの金融機関との提携を深め、新たな相談者等の掘り起しを行う。

2. 子会社(株)シーエフシー事業

株式会社シーエフシーをメインとした事業として、資産の社会的活用事業を展開する。まずは、高齢者介護施設の開設を手始めに保育園、中間就労支援施設、各種グループホーム、高齢者の居場所づくりなど地域ニーズを加味しながら展開していく。

3. NPOいわて生活者サポートセンター事業

各種補助金の獲得はもとより、財政的な基盤の確立とともに行政の補完的事業をメインに従来の独自事業（ギャンブル依存対策、傾聴語り合いの場所、DV相談等）の利用者の増加のための告知も強化していく。

4. 新規事業

日本コープ共済連合会が行う共済制度の受託事業としてコープ共済の募集を行ってまいります。

5. 内部による組織改革委員会の設置と活動

上記の事業構造改革を推し進めるため、内部に既存組織を改革するための検討委員会を設置し、組織、人事、各種規程規則などの大幅な見直しを行う一方、目標面接制度などの導入を図る中で、PDCAに基づき着実に事業成果が確認できるよう（KPIの導入）に構築していく。

上記の5事業等の相乗効果を狙いながら、今日的な社会的課題に対して新たな役割を模索し、担っていく。

＊ 岩手県学校生活協同組合 ＊

【学校生協をとりまく情勢と２０１２年度のまとめ】

アベノミクスによる経済効果は輸出産業を好転させ、今時春闘における大企業の満額回答や地価の高騰を引き出すことに成功して、デフレ脱却を国内外にアピールする事は出来ましたが、多くの国民には実感のない内容です。安倍内閣は経済政策のアピールによる支持率上昇を機に、憲法９６条「国会議員の３分の２賛成による憲法改正」を、２分の１に緩和して憲法を改正しやすくしようとしています。その目的は憲法９条であり、自民党が希求する軍隊の保持です。

私たち教職員が「教え子をふたたび戦場におくらない」事を決意し、国民全体で６０年以上守り継いできた「非武装による平和な日本」は、戦後最大の危機に直面しているのです。

大震災により福島県では東北電力の火力発電所と東京電力の原発が被災しました。同じ沿岸地区にあって壊滅的な状況となりましたが、その後の状況は大きく違います。火力発電所は稼働できない事による電力供給の影響はありますが、健康不安や居住に影響する事はありませんでした。しかし、原発は壊れる事が即時に全世界を脅威と恐怖に陥れ、２年経過後も電源ダウンを起こすなど、未だにメルトダウンの危機がある事を再確認しました。

県内沿岸部では仮設店舗や本格的に店舗をオープンして生業の復興に取り組んでいますが、基幹産業の復活や増強は未だに進んでおらず、被災者の就業環境も改善が進まないため、消費動向は向上していません。ここで消費税増税が実施されれば再開した事業を継続することが難しい状況となることは明確であり被災地の復興を大きく妨げます。

被災地の学校は施設や周辺環境の変わらないまま、被災していない地区と同様に通常の授業や行事の実施が求められ、精神的にも肉体的にも厳しい状況が続いています。また、子ども達を取り巻く環境は大きく好転することも無く、通学途上の危険性や暫定的な居住環境が変わらないまま感受性豊かな時期を過ごさなくてはなりません。

学校生協は経営改革の中で共同購入の拡大と教職員共済の拡大に取り組みながら、経営の改善と被災地支援に取り組んできました。目標とした Week 利用者 7,000 人、利用額 15 億 2 千万円は達成できませんでしたがファミリー月間や Week 利用率の著しい向上や教職員共済の拡大が日本一になるなど一定の成果を上げ、2012 年も被災校へ支援金をお渡しすることが出来ました。また、昨年度と同様に剰余金も確保し、組合員に利用割り戻しを実施する運びとなりました。

● ２０１２年度組合員の動態

2012年3月21日～2013年3月20日

	加 入	脱 退	異 動	期末人数
小中高	332	139	△357	12,956
退職者	15	202	276	5,617
職 場	149	201	△ 31	4,366
一 般	91	82	112	4,131
合 計	587	624	0	27,070

● ２０１２年度損益の状況

科 目	金 額 (前年比)
供 給 高	3,233,541 千円 (99.5%)
事業総剰余金	826,107 千円 (100.8%)
事 業 経 費	844,359 千円 (100.1%)
事業外収支	36,522 千円 (90.8%)
経常剰余金	18,270 千円 (114.2%)

● ２０１２年度の組合員還元

ファミリー月間全員利用商品	1,848,899 円
車検積立割戻 (0.5%)	309,462 円
増資積立割戻 (0.5%)	501,760 円
灯油積立割戻 (0.5%)	306,102 円
総 額	2,966,223 円

● ２０１３年度の供給計画

	供給金額	前年比
自 主 供 給	2,450,000 千円	98.8%
サービス・学用品事業	719,800 千円	95.6%
合 計	3,169,800 千円	98.0%

● ２０１３年度損益の計画

科 目	金 額
供 給 高	3,169,800 千円
事業総剰余金	859,644 千円
事 業 経 費	862,817 千円
事業外収支	15,600 千円
経常剰余金	12,427 千円

〈〈第 6 1 回通常総会 付属資料〉〉

* 第 6 0 回通常総会議案書 *

(議決済み)

と き：2013年3月29日(金) 午前10時
ところ：岩 手 労 働 福 祉 会 館

- | | | |
|-------|----------------------|---------|
| 第1号議案 | 2013年度事業計画案承認の件…………… | P37～P44 |
| 第2号議案 | 2013年度収支予算案承認の件…………… | P45～P47 |
| 第3号議案 | 役員補選に関する件…………… | P48 |

第 1 号議案

2013 年度事業計画案承認の件

【はじめに】

～連帯・協同の力で復興・再生へ～

東日本大震災から 2 年余が経過したが、「復興・再生」の道はいまだ厳しい状況にあります。

私たちは、「東日本大震災から連帯・協同の力で復興・再生へ」を合言葉に、未曾有の大災害の経験を風化させることなく、「経済成長は人間の幸せのためにあるのではなく、手段であって目的でない」こと、「大量生産・大量消費と、エネルギーの浪費を続けてきた生活を根幹からの見直すこと」を再認識するが、失われかけていた人への信頼や絆が、人間社会にとって大事なことを知らされました。

そのことから、人と人との支え合い、助け合い、連帯・協同することにより、様々なシステムが有効に機能することも明らかになりました。

私たちは今回の教訓を忘れてはなりませんし、風化させてはなりません。震災からの復興・再生を果し日本全体で災害に強い街をつくり、人と人との信頼や絆を一層深め、助け合いの連帯基盤を確立して行かなければなりません。

そのためには、労働組合・労働団体や福祉事業団体・協同組合がその一躍を担い役割を発揮することが強く求められています。

また、一方では国民の 6 人に 1 人が貧困、自殺者は 14 年連続で 3 万人を超え大きな社会的問題となっています。

ワーキングプアと言われる低所得者層は増加の一途を辿り、フルタイムで働いても生活できない社会の現状の中で、最低生活保障である「生活保護基準」についても切り下げる動きが議論されています。

私たちは、この現実をしっかりと受け止め「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の構築に向け、県内の勤労者の暮らしや仕事の不安を取り除き、勤労者と家族の拠り所となる総合的な支援センターとして、「ライフサポートセンターいわて」の活動の推進を図ります。

私たちは、労働者福祉運動の前進に向け、労働団体・福祉事業団体との一層の連携強化をはかり、着実な運動の積み重ねに努力します。

I . 活 動 の 基 調

1. 労働団体、福祉事業団体との連携を一層強め、労働者自主福祉活動の基盤強化に努めます。
2. 「ライフサポートセンターいわて」の充実をはかり、勤労者と家族の暮らしの安心・安全をめざします。
3. 地区労福協・勤労協と連携を強め、運動の活性化による地域運動の展開と、組織の強化をはかります。
4. 福祉事業団体や関係団体と連携し、勤労者と家族の生涯福祉・生涯取引の取り組みをめざします。

5. 中央労福協・北部労福協と連携し、社会的公正に向けた取り組みを進めます。

Ⅱ．取　り　組　み　方　針

1. 活動強化に向けて

- (1) 労働者の福祉向上に向けた諸活動を、労働団体、福祉事業団体、関係行政機関や諸団体との連携をはかりながら取り組みます。
- (2) 各種研修会は、内容充実等に向け関係団体と連携をはかりながら取り組みます。
- (3) ライフサポートセンターいわての充実と強化に向け、関係団体と連携をとりながら取り組みを強化します。
- (4) 規程に基づき、労福協基金(名称：特別会計)の効果的な運用をおこない、活動の強化に努めます、
- (5) 文化、スポーツ活動を通じて労福協活動に幅広い県民から理解と協力を求められるよう努力します。
- (6) 引き続き会員団体の新規加入に努めます。

2. 福祉事業団体との連携強化について

- (1) 各福祉事業団体と連携を強化し、事業の発展に取り組みます。
- (2) 各福祉事業団体の重要課題について、連携をはかり支援につとめます。
- (3) 岩手労働福祉会館のあり方については、岩手労働福祉会館理事会と連携をはかり、各会議や理事会において引き続き具体的な検討を行います。

3. ライフサポートセンターいわての充実と強化について

- (1) 勤労者の暮らしを、地域で支援するライフサポートセンターいわての充実に向け取り組みを強化します。
- (2) 「暮らしの何でも相談」を相談者のより身近なところで行うため、連合岩手の地協再編を見据え連携を強化します。
- (3) サービスの充実に向け、弁護士・司法書士等や提携団体との連携を強化します。

4. 中小企業勤労者福祉サービスセンターの強化について

- (1) 勤労者の暮らしやサービスの充実のため、会員拡大に協力します。
- (2) 行政に対する支援の要請を引き続き行います。

5. 政策・制度要求の取り組みについて

県民の安心・安全の生活実現をめざし、福祉事業団体・労働団体と連携し、政策・制度の提言や要請の取り組みを進めます。

6. 退職予定者、高齢者対策及び健康増進への取り組みについて

- (1) 退職準備サポート研修会を引き続き実施します。
- (2) 退職者や高齢者の生きがいや世代間の助け合いを進めるため、ライフサポートセンターい

わてとの連携をはかります。

(3) 広く、健康増進に向けた活動を行います。

7. 地区労福協・勤労協活動の強化について

(1) 地区労福協・勤労協代表者会議を開催し、体勢整備と機能強化をはかります。

(2) 地区労福協・勤労協間の連携強化と活動の促進に努めます。

(3) 地区労福協・勤労協独自活動の支援に努めます。

8. 文化・体育事業の取り組みについて

(1) 文化事業を企画、開催いたします。

① 第32回岩手県勤労者美術展を開催します。

② 研究集会を開催します。

(2) 体育事業を企画開催いたします。

① 第25回岩手県勤労者野球大会を開催します。

② 第18回岩手県勤労者ボウリング大会を開催します。

③ 第24回労福協会長杯ゴルフコンペを開催します。

④ 会員団体との協賛行事を検討します。

9. 勤労者支援事業について

(1) 失業及び育児・介護休業期間における助成事業を継続して行います。

(2) 自主活動およびコミュニティ活動の支援を行います。

Ⅲ . 2013年度具体的な事業計画

1. 労働者の福祉、生活の改善および相談に関する事業

(1) 退職準備サポート研修会

〔事業の目的〕 勤労者の退職後の生活設計や年金、社会保険について学び、安心できる老後を送ることに役立てる。

事業費合計	1, 290, 000円
諸 謝 金	80, 000円
会 議 費	10, 000円
諸会議費	40, 000円
渉 外 費	42, 000円
旅費交通費	100, 000円
通信運搬費	30, 000円
消耗品費	10, 000円
主催事業費	320, 000円
印刷製本費	50, 000円
役員報酬	260, 000円
給与手当	140, 000円
行 動 費	44, 000円
福利厚生費	60, 000円
賃 借 料	104, 000円
水道光熱費	6, 000円
雑 費	4, 000円

(2) 健康の増進に向けたセミナー

〔事業の目的〕 急速な高齢化の進展及び疾病構造の変化に伴い、健康の増進が重要性であります。勤労者並びに退職者や高齢者の健康の増進をはかる。

事業費合計	710, 000円
諸 謝 金	150, 000円
会 議 費	10, 000円
諸会議費	20, 000円
渉 外 費	10, 000円
旅費交通費	50, 000円
通信運搬費	10, 000円
消耗品費	5, 000円
主催事業費	40, 000円
印刷製本費	100, 000円
役員報酬	130, 000円
給与手当	85, 000円
行 動 費	22, 000円
福利厚生費	20, 000円
賃 借 料	52, 000円
水道光熱費	3, 000円
雑 費	3, 000円

(3) ライフサポート事業

〔事業の目的〕 ワンストップによる「暮らしの何でも相談」による、勤労者の生活等における悩みの解決・解消をめざす。

事業費合計	2, 2 0 0, 0 0 0 円
相談事業費	2, 2 0 0, 0 0 0 円

2. 労働者の教育、文化、スポーツ及び交流に関する事業

(1) 岩手県勤労者美術展

〔事業の目的〕 勤労者及びその家族に芸術表現の場を提供し、文化創造活動を高め、勤労者文化の向上をはかる。

収入合計	1 5 0, 0 0 0 円
事業費合計	2, 4 2 0, 0 0 0 円
諸謝金	7 0, 0 0 0 円
会議費	2 0, 0 0 0 円
諸会議費	7 0, 0 0 0 円
渉外費	5 0, 0 0 0 円
旅費交通費	1 2 0, 0 0 0 円
通信運搬費	1 5 0, 0 0 0 円
消耗品費	2 0, 0 0 0 円
主催事業費	4 2 0, 0 0 0 円
印刷製本費	5 0 0, 0 0 0 円
広告支出	1 0 0, 0 0 0 円
役員報酬	3 9 0, 0 0 0 円
給与手当	1 8 5, 0 0 0 円
行動費	6 6, 0 0 0 円
福利厚生費	9 0, 0 0 0 円
賃借料	1 5 6, 0 0 0 円
水道光熱費	9, 0 0 0 円
雑費	4, 0 0 0 円

(2) 研究集会

〔事業の目的〕 勤労者の知識を深め、福祉活動の今後のあり方について調査・研究する。

事業費	3 8 5, 0 0 0 円
諸謝金	5 0, 0 0 0 円
会議費	1 0, 0 0 0 円
諸会議費	1 5, 0 0 0 円
渉外費	2 0, 0 0 0 円
旅費交通費	1 0, 0 0 0 円
通信運搬費	1 0, 0 0 0 円
消耗品費	5, 0 0 0 円
主催事業費	3 0, 0 0 0 円

印刷製本費	10,000円
広告支出	7,000円
役員報酬	60,000円
給与手当	60,000円
行 動 費	10,000円
福利厚生費	20,000円
賃 借 料	50,000円
水道光熱費	3,000円
雑 費	5,000円

(3) 岩手県勤労者野球大会・岩手県勤労者ボウリング大会・その他のスポーツ

〔事業の目的〕 勤労者の健康を維持し、明るい職場環境を築き、より良い人間関係を形成して、勤労者福祉向上をはかる。

収 入 合 計	150,000円
事業費合計	1,980,000円
諸 謝 金	50,000円
会 議 費	10,000円
諸会議費	26,000円
渉 外 費	60,000円
旅費交通費	70,000円
通信運搬費	15,000円
消耗品費	10,000円
主催事業費	850,000円
印刷製本費	20,000円
役員報酬	390,000円
給与手当	145,000円
行 動 費	66,000円
福利厚生費	90,000円
賃 借 料	104,000円
水道光熱費	9,000円
雑 費	5,000円

3. 労働者の福祉、生活の向上に関する事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンターの拡充に関する事業

〔事業の目的〕 中小企業勤労者福祉サービスセンターの機能や役割を学習し、利用促進をはかる。

事業費合計	140,000円
諸会議費	22,000円
渉 外 費	20,000円
旅費交通費	10,000円
通信運搬費	3,000円
印刷製本費	5,000円

役員報酬	26,000円
給与手当	31,000円
行 動 費	4,500円
福利厚生費	6,000円
賃 借 料	10,500円
水道光熱費	1,000円
雑 費	1,000円

4. 労働者の自主活動及びコミュニティ活動の支援に関する事業

(1) 地区労福協・勤労協の諸活動支援及び加盟組織との連携に関する事業

〔事業の目的〕地区労福協・勤労協は、地域の労働者福祉向上に向けた活動への支援を行う。さらには構成団体との連携を強化し活動の支援を行う。

事業費合計	6,330,000円
会 議 費	300,000円
諸会議費	424,000円
渉 外 費	500,000円
旅費交通費	650,000円
通信運搬費	135,000円
印刷製本費	80,000円
役員報酬	390,000円
給与手当	165,000円
行 動 費	66,000円
福利厚生費	90,000円
賃 借 料	156,000円
水道光熱費	9,000円
雑 費	5,000円
地区労福協事業費	3,000,000円
負担金支出	360,000円

(2) 環境の維持保全に関する助成事業

〔事業の目的〕緑をはぐくみ育てる、「連合の森」植樹の活動の趣旨に賛同し、その事業を成功させるための助成を行う。

事業費合計	1,000,000円
助成金支出	1,000,000円

(3) みどりを守り育てる岩手県民会議に対する助成事業

〔事業の目的〕「みどりを守り育てる岩手県民会議」の運動、きれいな空気・水・大地を次世代に継承する活動の趣旨に賛同し、その事業を成功させるための助成を行う。

事業費合計	150,000円
助成金支出	150,000円

(4) メーデー開催に対する支援助成事業

〔事業の目的〕 労働者の祭典であるメーデーを成功させるための助成を行う。

事業費合計	400,000円
助成金支出	400,000円

(5) 恒久平和の取り組みに対する助成事業

〔事業の目的〕 世界の恒久平和を希求している活動に賛同し、その事業を成功させるための助成を行う。

事業費合計	100,000円
助成金支出	100,000円

(6) 目的を達成するためのその他の事業

〔事業の目的〕 労働者が失業時の求職活動期間および育児や介護休業期間の生計費を労働金庫から借り入れた場合の信用保証料に対する助成を行う。

事業費合計	100,000円
助成金支出	100,000円

5. その他、岩手労福協の目的を達成するために必要な事業

- (1) 労働者の生活・福祉に関する要求集約と要請の事業
- (2) 中央労福協・北部労福協との連携を強め進める事業
- (3) 勤労者福祉施設にかかる事業
- (4) その他、目的を達成するためのその他の事業

事業費合計	1,040,000円
会議費	40,000円
諸会議費	43,000円
渉外費	50,000円
旅費交通費	60,000円
通信運搬費	25,000円
消耗品費	5,000円
主催事業費	80,000円
広告支出	100,000円
役員報酬	260,000円
給与手当	160,000円
行 動 費	44,000円
福利厚生費	60,000円
賃 借 料	104,000円
水道光熱費	6,000円
雑 費	3,000円

第 2 号議案

2 0 1 3 年度収支予算案承認の件

1. 2 0 1 3 年度収支予算案の考え方

(1) 当期収入について

① 団体会費

㊦ 東北労働金庫の 10,000 円減額は、東北各県労働者福祉協議会の協議による減額である。

㊧ 東磐井郡労働者福祉協議会の入会により、団体会費 10,000 円が増額した。

② 事業活動支援積立金会計

事業活動支援積立金を取り崩して 1,529,894 円を取り崩して 2013 年度予算に繰り入れる。

③ 退職金給与引当金会計

退職金給与引当金は、常勤役員退職金規程における予測される金額を大幅に超えていることから、4,000,000 円を取り崩して 2013 年度予算に繰り入れる。

(2) 当期支出について

① 全体的な当期支出予算額は、新公益法人移行を踏まえ対応をおこなった。

② 新公益法人移行の会計基準に伴い、事業費「役員報酬・給与手当・行動費・福利厚生費・光熱水量費・賃借料」は、事業運営にかかる必要日数等を勘案し組み入れた。

(3) 今後の財政について

① 全体的な収支予算については、収入状況等を見据えつつより効率的かつ効果的な運営に努める。

② 新公益法人移行に伴い、科目変更や予算配置変更の必要性が生じた場合は、定款に基づき速やかに理事会・総会の承認を得て対応をおこなうこととする。

(4) 2 0 1 3 年度収支予算案について

「別紙参照」

以 上

2013年度 収支予算書

【一般会計】

2013年4月1日～2014年3月31日

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
当期収入				
入会金収入	0	0	0	入会金
会費収入	24,670,000	24,670,000	0	団体会費
事業収入	0	0	0	事業収入
補助金収入	0	0	0	補助金
負担金収入	300,000	300,000	0	負担金(各行事参加費・分担金等)
寄付金収入	0	0	0	寄付金
受取利息	20,000	20,000	0	預金利息
雑収入	100,000	100,000	0	祝金／預金配当金 他
特定預金取崩収入	5,529,894	4,500,000	1,029,894	事業活動支援金積立・退職金給与引当金からの繰入
当期収入合計	30,619,894	29,590,000	1,029,894	
前期繰越収支差額	538,572	3,033,442	△2,494,870	
収 入 合 計	31,158,466	32,623,442	△1,464,976	
当期支出				
<事業費>				
役員報酬	2,115,000	2,236,000	△121,000	役員給与
給与手当	1,029,000	946,000	83,000	職員給与
行動費	378,400	378,400	0	役員手当
福利厚生費	530,000	516,000	14,000	社会保険料／労働保険
諸謝金	400,000	950,000	△550,000	講師料／講演料 他謝金
会議費	300,000	500,000	△200,000	総会／理事会／四役会
諸会議費	700,000	830,000	△130,000	各種委員会／地区代表者会議／その他会議
渉外費	830,000	830,000	0	御祝金／香典代／参加費／懇談会他
旅費交通費	1,050,000	1,240,000	△190,000	旅費・日当／宿泊費／タクシー代
通信運搬費	378,000	388,000	△10,000	電話料金／携帯電話代／発送費
消耗品費	75,000	55,000	20,000	主催事業文房具・消耗品代
印刷製本費	793,000	1,015,000	△222,000	コピー代／ポスター・ちらし等印刷／機関誌
光熱水量費	44,000	52,000	△8,000	電気料
賃借料	706,500	842,500	△136,000	家賃／リース料(コピー機・パソコン)
負担金支出	360,000	360,000	0	関係団体-会費
主催事業費	1,740,000	1,790,000	△50,000	主催事業費用、保険等
相談事業費	2,200,000	2,500,000	△300,000	相談事業費用(LSCいわて分担金)
地区労福協事業費	2,800,000	3,000,000	△200,000	交付金／事業活動交付金／地区労福協関係
助成金支出	1,750,000	1,800,000	△50,000	メーダー補助金／平和運動協賛金／信用保証料助成 他
広告支出	150,000	300,000	△150,000	名刺広告代／協賛広告代／事業宣伝 他
雑費	30,000	30,000	0	その他雑費
事業費合計	18,358,900	20,558,900	△2,200,000	
<管理費>				
役員報酬	4,927,000	4,208,000	719,000	役員給与
給与手当	2,081,000	1,774,000	307,000	職員給与
行動費	701,600	701,600	0	役員手当
福利厚生費	999,000	984,000	15,000	社会保険料／労働保険／健康診断／他
退職金	90,000	0	90,000	中退金の掛金
会議費	150,000	200,000	△50,000	理事会／四役会／会計監査／事務局打合せ
渉外費	300,000	250,000	50,000	新春交賀会 他
旅費交通費	200,000	250,000	△50,000	旅費・日当
通信運搬費	60,000	60,000	0	切手代／郵便料金／発送費
消耗什器備品費	150,000	350,000	△200,000	事務機器
消耗品費	20,000	20,000	0	事務用文房具代
印刷製本費	20,000	20,000	0	名刺代／年賀状代／封筒代
光熱水量費	86,000	96,000	△10,000	電気料
賃借料	1,550,000	1,757,500	△207,500	家賃／リース料(コピー機・パソコン)
租税公課	80,000	80,000	0	法人県民税／法人市民税／印紙代
寄付金支出	0	0	0	—
事務所費	150,000	150,000	0	コーヒー・お茶代／事務所雑用品／新聞代 他
雑費	20,000	20,000	0	その他雑費
管理費合計	11,584,600	10,921,100	663,500	
事業費・管理費合計	29,943,500	31,480,000	△1,536,500	
固定資産取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	0	0	0	
借入金返済支出	0	0	0	
特定預金支出	0	0	0	
事業支援積立金支出	(0)	(0)	(0)	
退職給与引当預金支出	(0)	(0)	(0)	
予備費	1,214,966	1,143,442	71,524	
当期支出合計	31,158,466	32,623,442	△1,464,976	
当期収支差額	△538,572	△3,033,442		

2013年度 団体会費

(単位:円)

団 体 名	会 費 金 額
東北労働金庫岩手県本部	12,000,000
全労済岩手県本部	6,310,000
財団法人岩手県民共済会	2,950,000
財団法人岩手労働福祉会館	680,000
消費者信用生活協同組合	600,000
岩手県学校生活協同組合	310,000
連 合 岩 手	1,630,000
平和環境岩手県センター	30,000
岩 手 友 愛 会	20,000
盛岡地区勤労者協議会	10,000
花巻市勤労者福祉協議会	10,000
胆沢地方勤労者福祉協議会	10,000
北上和賀地区労働者福祉協議会	10,000
江刺区勤労者福祉協議会	10,000
一関地区労働者福祉協議会	10,000
気仙地区労働者福祉協議会	10,000
遠野地区労働者福祉協議会	10,000
宮古地方労働者福祉協議会	10,000
釜石地区労働者福祉協議会	10,000
東磐井郡労働者福祉協議会	10,000
岩手郡労働者福祉協議会	10,000
久慈地区労働者福祉協議会	10,000
二戸地区労働者福祉協議会	10,000
合 計 (23団体)	24,670,000

第 3 号議案

役員補選に関する件

第 59 回通常総会以降、理事並びに監事の辞任が一部あり理事並びに監事の補選が必要となります。補選にあたりましては、第 57 回理事会(2012 年 12 月 27 日)にて確認がされておりますので、定款第 3 章第 13 条 1 項に基づき本総会への提案となります。

なお、選任されます理事並びに監事の任期は、第 15 条に基づき前任者の残任期間となります。

〔退任役員〕

退任理事 矢 神 章 男 (消費者信用生活協同組合)

退任監事 吉 田 恵 一 (全労済岩手県本部)

〔新任役員〕

新任理事 阿 部 和 平 (消費者信用生活協同組合)

新任監事 川 崎 則 男 (全労済岩手県本部)

(参考)

定款第 13 条 理事及び監事は、総会において選任する。

定款第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任されることができる。

- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任または任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

第 4 号議案

その他

社団法人 岩手県労働者福祉協議会

定 款

社団法人岩手県労働者福祉協議会 定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本協議会は、社団法人岩手県労働者福祉協議会（略称「岩手労福協」）と称する。

(事務所)

第2条 本協議会は、主たる事務所を岩手県盛岡市大沢川原二丁目2番32号に置く。

2 本協議会は、総会の議決を経て、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

(目 的)

第3条 本協議会は、相互扶助の精神に基づき、岩手県内の労働者及びその家族がゆとりと豊かさを実感できる社会を築くための諸事業を行い、もって労働者及びその家族の福祉の充実並びに社会的地位及び経済的地位の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 労働者の福祉につながる諸制度の調査研究及び広報に関する事業
- (2) 労働者福祉事業団体の育成強化と拡充に関する事業
- (3) 労働者の福祉、生活の改善及び相談に関する事業
- (4) 労働者の教育、文化、スポーツ及び交流に関する事業
- (5) 労働者の自主活動及びコミュニティー活動の支援に関する事業
- (6) 労働者に関する行政機関との提携等に関する事業
- (7) その他本協議会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会 員

(種 別)

第5条 本協議会の会員は、岩手県内に組織を有する次の団体とし、会員をもって民法（明治29年法律第89号）上の社員とする。

- (1) 労働組合及びこれに準ずる団体
- (2) 労働者福祉事業団体及びこれに準ずる団体
- (3) その他理事会で加入を承認した団体

(入 会)

第6条 本協議会に入会しようとする者は、理事会の議決を経て会長が別に定める入会申込書を会長に提出し、理事会の議決を経なければならない。

2 入会は、総会が別に定める基準により、理事会においてその可否を決定し、会長が本人に通知するものとする。

(入会金及び会費)

第7条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員資格の喪失)

第8条 会員が次の各号のいずれかに該当するときには、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき。
- (2) 会員である団体が消滅し、又は解散したとき。
- (3) 除名されたとき。

(退 会)

第9条 会員は、理事会の議決を経て、会長が別に定める退会届を会長に提出して、任意に退会することができる。

(除 名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当するときには、総会において出席した会員の3分の2以上の議決に基づいて、除名することができる。

- (1) 本協議会の定款又は規則に違反したとき。
 - (2) 本協議会の名誉を傷つけ、秩序を乱し、又は目的に反する行為をしたとき。
 - (3) 正当な理由なく会費を1年以上納入しないとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、あらかじめ、その会員に除名の理由を通知し、除名の議決を行う総会において弁明の機会を与えなければならない。

(抛出金品の不返還)

第11条 既納の入会金、会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

第3章 役 員

(種類及び定数)

第12条 本協議会に、次の役員を置く。

- (1) 理 事 14人以上20人以内
- (2) 監 事 2人以上3人以内

2 理事のうち1人を会長、4人以内を副会長、1人を専務理事とし、必要に応じて常務理事を置くことができる。

(選任等)

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事は互選により、会長、副会長、専務理事及び常務理事を選任する。
- 3 理事及び監事は、相互にこれを兼ねることができない。
- 4 理事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記簿の謄本を添え、遅滞なくその旨を岩手県知事に届け出なければならない。
- 5 監事に異動があったときは、遅滞なくその旨を岩手県知事に届け出なければならない。

(職 務)

第14条 会長は、本協議会を代表し、その業務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

3 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、本協議会の業務を統括する。

4 常務理事は、理事会の議決に基づき、本協議会の業務を分担処理する。

5 理事は、理事会を構成し、定款及び総会の議決に基づき、本協議会の業務を執行する。

6 監事は、次に掲げる業務を行う。

(1) 財産の状況を監査すること。

(2) 理事の業務執行状況を監査すること。

(3) 財産の状況及び業務の執行について、不正の事実を発見したときは、これを総会、理事会又は岩手県知事に報告すること。

(4) 前号の報告をするため必要があるときは、総会若しくは理事会の招集を請求し、又は総会若しくは理事会を招集すること。

(任 期)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任されることができる。

2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解 任)

第16条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において出席した会員の3分の2以上の議決に基づいて解任することができる。

(1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき

2 前項の規定により役員を解任するときは、あらかじめ、その役員に除名の理由を通知し、除名の議決を行う総会において弁明の機会を与えなければならない。

(報酬等)

第17条 役員は有給とすることができる。

2 役員には、費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

第4章 総 会

(種 別)

第18条 本協議会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第19条 総会は、会員をもって構成する。

(権能)

第20条 総会は、この定款で別に定めるもののほか、本協議会の運営に関する重要な事項を議決する。

(開催)

第21条 通常総会は、毎年2回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により、招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第6項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第22条 総会は、会長が招集する。

2 会長は、前条第2項各号のいずれかに該当する場合は、請求があった日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会に出席した会員の中から選出する。

(定足数)

第24条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第25条 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第26条 やむを得ない理由のため総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面により表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。

2 前項の場合において、前2条の規定の適用については、その会員は出席したものとみなす。

(議事録)

第27条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 会員の現在数、出席者数及び出席者氏名
(書面表決者及び表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること。)
- (3) 審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名及び押印をしなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第29条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(種類及び開催)

第30条 理事会は、通常理事会と臨時理事会の2種とする。

- 2 通常理事会は、毎年4回開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき。
 - (2) 理事現在数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
 - (3) 第14条第6項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第31条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長は、前条第3項第2号又は第3号に該当する場合は、その日から14日以内に臨時理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(議長)

第32条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数等)

第33条 理事会については、第24条から第27条までの規定を準用する。この場合において、これらの規定中「総会」及び「会員」とあるのは、それぞれ「理事会」及び「理事」と読み替えるものとする。

第6章 財産及び会計

(財産の構成)

第34条 本協議会の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 入会金及び会費

- (2) 寄付金品
- (3) 財産から生じる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

(財産の管理)

第35条 本協議会の財産は、会長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

(経費の支弁)

第36条 本協議会の経費は、財産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第37条 本協議会の事業計画及びこれに伴う予算に関する書類は、会長が作成し、毎会計年度開始前に、総会において出席した会員の3分の2以上の議決を経て、岩手県知事に届け出なければならない。これを変更する場合も、同様とする。

(暫定予算)

第38条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第39条 本協議会の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後、会長が事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等として作成し、監事の監査を受け、総会において出席した会員の3分の2以上の議決を経て、その会計年度終了後3か月以内に岩手県知事に報告しなければならない。

(長期借入金)

第40条 本協議会が資金の借入れをしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会において3分の2以上の議決を経、かつ、岩手県知事の承認を得なければならない。

(会計年度)

第41条 本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第42条 この定款は、総会において会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、岩手県知事の認可を得なければ変更することができない。

(解 散)

第43条 本協議会は、民法第68条第1項第2号から第4号まで及び第2項第2号の規定によるほか、総会において会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、岩手県知事の承認を得て解散する。

(残余財産の処分)

第44条 本協議会の解散のときに有する残余財産は、総会において会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、岩手県知事の承認を得て、本協議会と類似の目的を有する団体に寄附するものとする。

第8章 事務局

(設置等)

第45条 本協議会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び職員は、会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

(備付け帳簿及び書類)

第46条 事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかなければならない。

- (1) 定款
- (2) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- (3) 理事、監事及び職員の名簿及び履歴書
- (4) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (5) 定款に定める機関の議事に関する書類
- (6) 収入及び支出に関する帳簿及び証拠書類
- (7) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (8) その他必要な帳簿及び書類

第9章 補 則

(委任)

第47条 この定款に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この定款は、本協議会の設立許可のあった日から施行する。
- 2 本協議会の設立当初の役員は、第13条第1項及び第2項の規定にかかわらず、設立総会の定める別紙役員名簿のとおりとし、その任期は、第15条第1項の規定にかかわらず、平成15年5月31日までとする。
- 3 本協議会の設立初年度の事業計画及び予算は、第37条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 4 本協議会の設立初年度の会計年度は、第41条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成15年3月31日までとする。

社団法人岩手県労働者福祉協議会 会員名簿

団 体 名	住 所 ・ 電 話 番 号
日本労働組合連合会岩手県連合会	☎020-0025 019-625-5505 盛岡市大沢川原 2-2-32 岩手労働福祉会館 3F
平和環境岩手県センター	☎020-0025 019-623-9201 盛岡市大沢川原 2-2-32 岩手労働福祉会館 4F
岩手友愛会	☎020-0885 019-624-4310 盛岡市紺屋町 1-25 東北電労岩手県本部内
東北労働金庫岩手県本部	☎020-8601 019-622-4104 盛岡市長田町 6-7 クリ 21 エビル
全労済岩手県本部	☎020-0025 019-622-0631 盛岡市大沢川原 2-2-32 岩手労働福祉会館 2F
財団法人岩手県民共済会	☎020-0821 019-652-3195 盛岡市山王町 10-6 山王ハイツ 2F
消費者信用生活協同組合	☎020-0874 019-653-0001 盛岡市南大通 1-8-7 CFCビル
財団法人岩手労働福祉会館	☎020-0025 019-653-8111 盛岡市大沢川原 2-2-32
岩手県学校生活協同組合	☎020-0181 019-687-2246 岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-5
盛岡地区勤労者協議会	☎020-0885 019-626-4725 盛岡市紺屋町 2-9 盛岡市勤労福祉会館内
花巻市勤労者福祉協議会	☎025-0075 0198-24-3908 花巻市花城町 9-30 花巻市職員労働組合内
胆沢地方勤労者福祉協議会	☎023-0003 0197-23-5123 奥州市水沢区佐倉河字後樋 120-1 胆江地区勤労者教育文化センター内
北上和賀地区労働者福祉協議会	☎024-0062 0197-64-5505 北上市鍛冶町 1-3-7 北上和賀地区労働者福祉会館内
江刺区勤労者福祉協議会	☎023-1117 0197-35-6268 奥州市江刺区南町 4-8 江刺教育会館内
一関地区労働者福祉協議会	☎029-0803 0191-53-2520 一関市千厩町字館山 6-40 東磐井教育会館内
気仙地区労働者福祉協議会	☎022-0003 0192-26-4100 大船渡市盛町字東町 14-2 気仙教育会館内
遠野地区労働者福祉協議会	☎028-0515 0198-62-2554 遠野市東館町 9-17 遠野教育児童会館内
宮古地方労働者福祉協議会	☎027-0066 0193-63-2557 宮古市栄町 5-11 国労宮古地域分会内
釜石地区労働者福祉協議会	☎029-0803 0193-24-3013 釜石市鈴子町 23-15 新日鐵釜石労働組合内
東磐井郡労働者福祉協議会	☎026-8567 0191-25-5311 一関市千厩町字館山 6-40 東磐井教育会館内
岩手郡労働者福祉協議会	☎020-0173 019-687-6171 岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-5 岩手県教職員組合岩手支部内
久慈地区労働者福祉協議会	☎028-0031 0194-52-7782 久慈市天神堂 37-165 九戸教育会館内
二戸地区労働者福祉協議会	☎028-6101 0195-26-8300 二戸市福岡字川又 47 二戸市職員労働組合内

第 61 回通常総会スローガン (案)

連帯・協同で

安心・共生の福祉社会をつくろう!

社団法人 岩手県労働者福祉協議会

岩手県盛岡市大沢川原二丁目 2 番 32 号

岩手労働福祉会館 4 階

Tel:019-654-3082 Fax:019-651-5024

URL <http://iwate.rofuku.net/>

E-mail iwate-roufuku@rainbow.plala.or.jp

2013～2014年度
社団法人岩手県労働者福祉協議会 役員名簿

会 長	いさ 砂	ご 金	ふみ 文	あき 昭	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
副 会 長	おの 小	でら 野	まさ 正	し 志	(東北労働金庫岩手県本部)
副 会 長	らい 来	ない 内	ひろ 広	ゆき 幸	(全労済岩手県本部)
副 会 長	とよ 豊	まき 巻	こう 浩	や 也	(平和環境岩手県センター)
副 会 長	こ 古	もん 門	けん 賢	いち 一	(岩手友愛会)
専務理事	や 八	はた 幡	ひろ 博	ふみ 文	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
理 事	たけ 竹	おか 岡	のぶ 信	ゆき 幸	(東北労働金庫岩手県本部)
理 事	うら 浦	やま 山	まさ 正	とし 年	(財団法人岩手県民共済会)
理 事	こん 昆			まこと 誠	(財団法人岩手労働福祉会館)
理 事	あ 阿	べ 部	わ 和	へい 平	(消費者信用生活協同組合)
理 事	たか 高	はし 橋	かつ 克	ひろ 公	(岩手県学校生活協同組合)
理 事	さい 齋	とう 藤	けん 健	いち 市	(自治労岩手県本部)
理 事	ち 千	ば 葉	のぶ 伸	ゆき 行	(岩手県東北電力関連産業労働組合総連合)
理 事	み 三	うら 浦		きよし 清	(情報労連岩手県協議会)
監 事	かわ 川	さき 崎	のり 則	お 男	(全労済岩手県本部)
監 事	しば 柴	や 谷	まさ 正	たか 孝	(運輸労連岩手県連合会)

選 出 日 2013. 6. 20 第61回通常総会